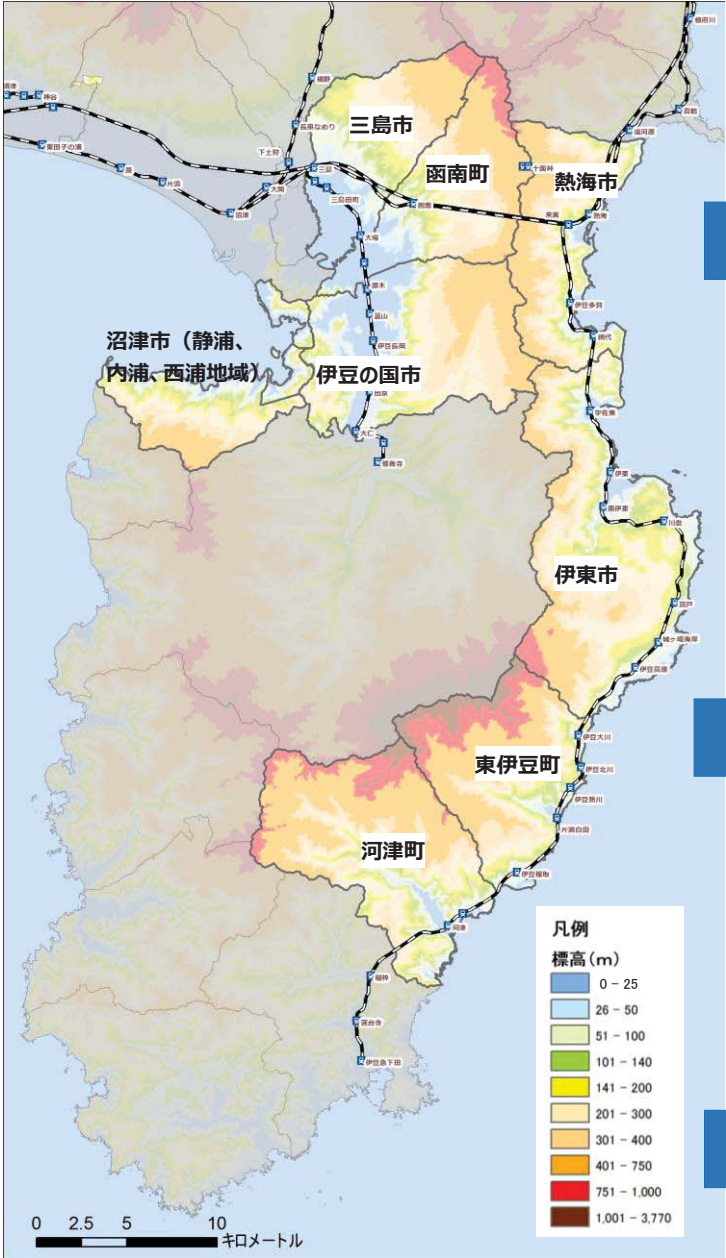


第1章 東伊豆・中伊豆地域を取り巻く現状

本章では、東伊豆・中伊豆地域を取り巻く現状として、1-1 地域の概況、1-2 公共交通の状況、1-3 移動実態と意向の3つの項目より整理を行った。



現状把握の項目	
1-1 地域の概況	<ul style="list-style-type: none"> 1. 人口の推移及び分布 <ul style="list-style-type: none"> (1) 人口、世帯数、高齢化率の推移 (2) 公共交通の人口カバー率 2. 自動車及び免許保有状況 3. 生活関連施設の立地状況 4. 産業構造 5. 観光交流客の推移 6. 観光関連施設の立地状況
1-2 公共交通の状況	<ul style="list-style-type: none"> 1. 公共交通網の概況 2. 鉄道の現状 3. 路線バスの現状 4. デマンド型交通の現状 5. タクシーの現状 6. 交通結節点の現状 7. その他の現状
1-3. 移動実態と意向	<ul style="list-style-type: none"> 1. 鉄道の利用実態 2. 路線バスの利用実態 3. 生活移動の実態 4. 観光移動の実態 5. 生活移動における意向 6. 観光移動における意向

【東伊豆・中伊豆地域の地勢】
 本地域は、三島市や函南町、伊豆の国市の伊豆箱根鉄道沿線においては平坦な低地が広がっているが、それ以外においては山地が海岸まで迫り平地が少ないことや、周囲を海に囲まれ複雑な形状をなしていることが特徴である。

図 4 東伊豆・中伊豆地域の地勢

1-1 地域の概況

1. 人口の推移及び分布

(1) 人口、世帯数、高齢化率の推移

- ・本地域の人口は約 **33.2 万人**、**世帯数は約 14.0 万世帯**、**高齢化率は約 33.4%**である。
- ・本地域の人口は **1995 年をピークに減少**に転じており、今後も減少すると想定される。
- ・**高齢化率は県全体に比べ高く**、今後も**少子高齢化が進み**、通勤通学利用者の減少、高齢者等交通弱者の増加が想定される。

表 1 人口、世帯数、高齢化率 (2015 年)

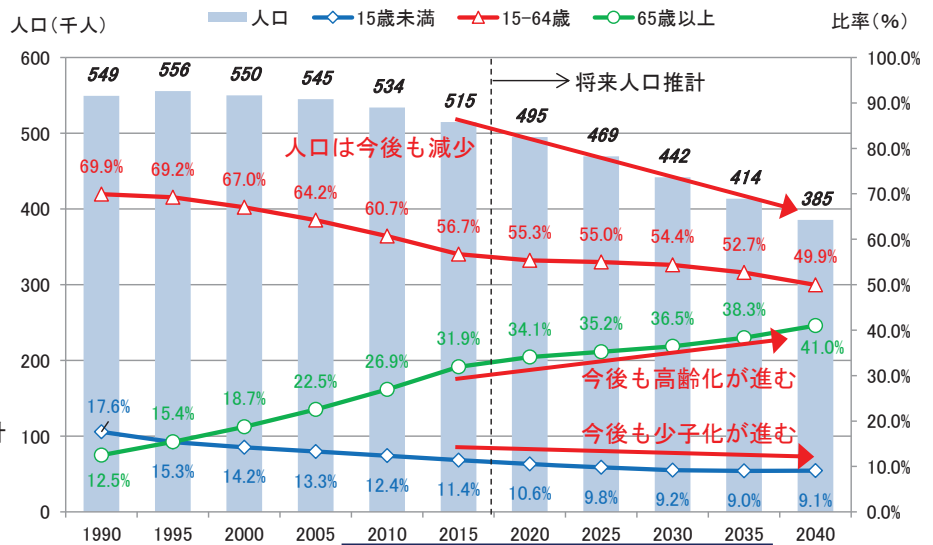
	人口	世帯数	高齢化率
本地域※	33.2 万人	14.0 万世帯	33.4%
静岡県全体	370 万人	143 万世帯	27.6%

出典：国勢調査 (2015 年)

(※沼津市は静浦・内浦・西浦地域のデータ)

図 5 人口及び年代別構成比率の推移
(※沼津市は市全体のデータ)

出典：国勢調査、将来人口推計
(国立社会保障・人口問題研究所)



(2) 公共交通の人口カバー率

- ・居住地は、山間部等本地域全般に薄く広がっており、鉄道、路線バス、デマンド型交通による人口カバー率は 86.2%である。
- ・山間部を中心に交通空白地域(鉄道駅半径 500m、バス停半径 500m の圏域外)が存在する。その中には、家族の送迎等の移動手段を持ちにくい高齢者単独世帯が多くあると想定される人家が集合し高齢化率が高い地域が複数箇所存在する。

表 2 人口カバー率

人口	カバー人口※	カバー率
324,291 人	279,545 人	86.2%

※カバー人口は、鉄道駅 500m、バス停 500m の範囲でカバーされる人口数を人口メッシュデータを元に GIS にて算出 (地域全体の人口も人口メッシュデータに基づく計算上の数値である)

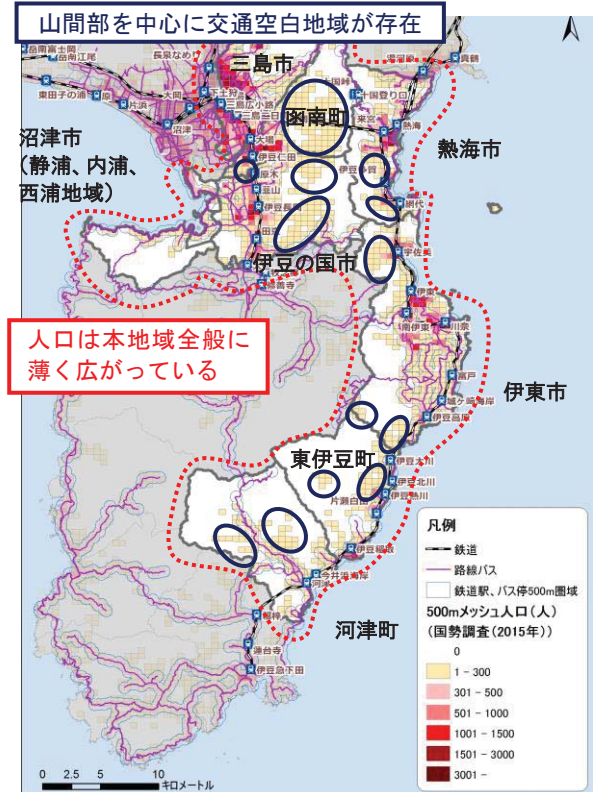


図 6 公共交通人口カバー率

出典：国勢調査 (2015 年)

2. 自動車及び免許保有状況

- ・世帯あたりの自家用乗用車保有台数は、1.31 台であり、1世帯1台以上の保有状況である。
- ・免許保有者数は、地域全体では減少している。
- ・免許返納者は増加傾向にあり、その大半を高齢者が占めている。
- ・今後、自動車を持たず、移動手段を公共交通に依存する高齢者は増加することが想定される。

表 3 自動車保有台数 (2017 年)

世帯数	自家用乗用車保有台数	世帯あたり保有台数
21.8 万世帯	28.5 万台	1.31 台

出典：静岡県自動車保有台数調査 (2017 年)

(※沼津市は市全体のデータ)

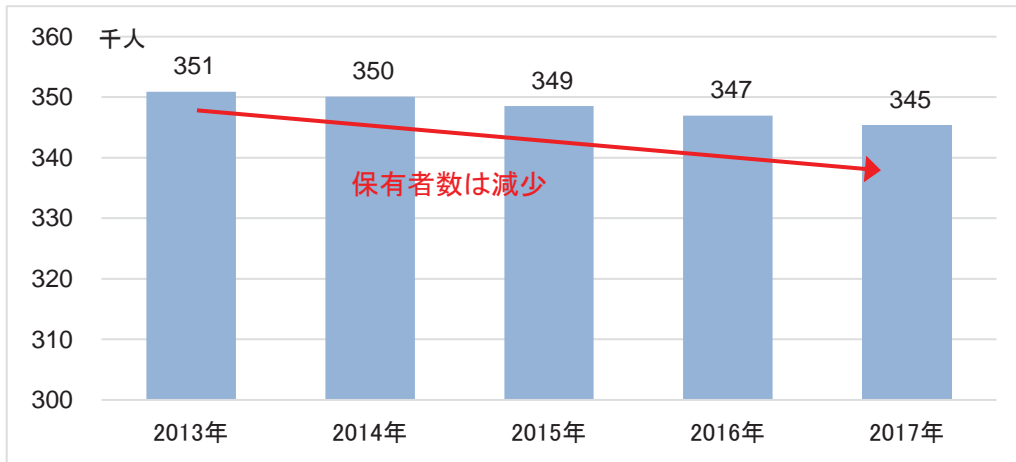


図 7 自動車免許保有者数の推移

出典：静岡県警察本部提供データ

(※沼津市は市全体のデータ)

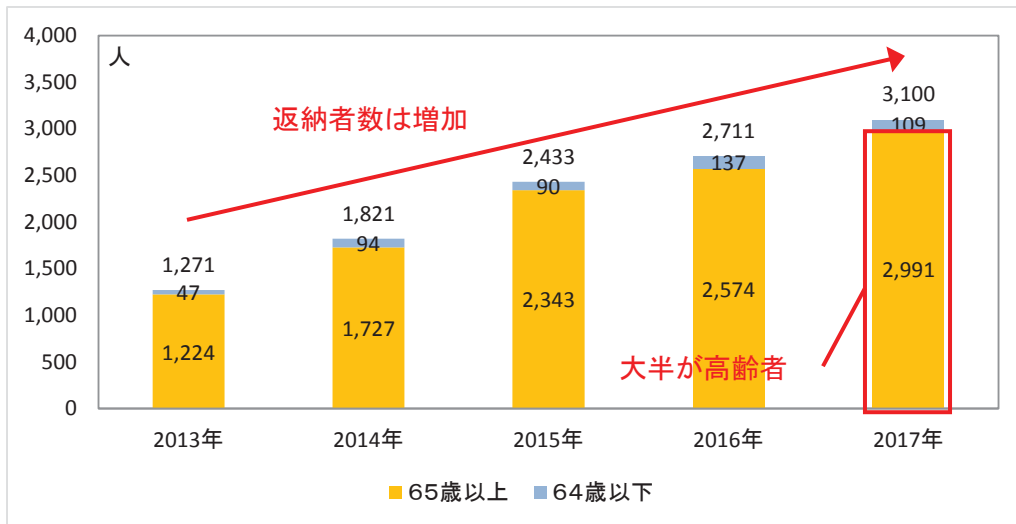


図 8 自動車免許返納者数の推移

出典：静岡県警察本部提供データ

(※東部免許センター及び本地域に関する警察署での受付数、沼津市は市全体のデータ)

3. 生活関連施設の立地状況

- 公共施設、医療施設、商業施設等の生活利用施設、通勤先となる事業所、通学先となる学校は、いずれも鉄道駅、バス停の周辺に多く立地しており、ほとんどの施設には既存の公共交通網でアクセスすることは可能である。

表 4 施設のカバー状況

	施設数	鉄道駅、バス停 500m以内	
		施設数	カバー率
公共施設 (市、町役場)	7	7	100.0%
医療施設	10	10	100.0%
大規模 小売店舗	48	45	93.8%

出典：国土数値情報（公共施設は 2006 年、医療施設は 2010 年）、大規模小売店舗は大規模小売店舗立地法に基づく届出状況（静岡県 HP、2017 年 4 月時点）

図 9 公共施設、医療施設、大規模小売店舗の立地状況

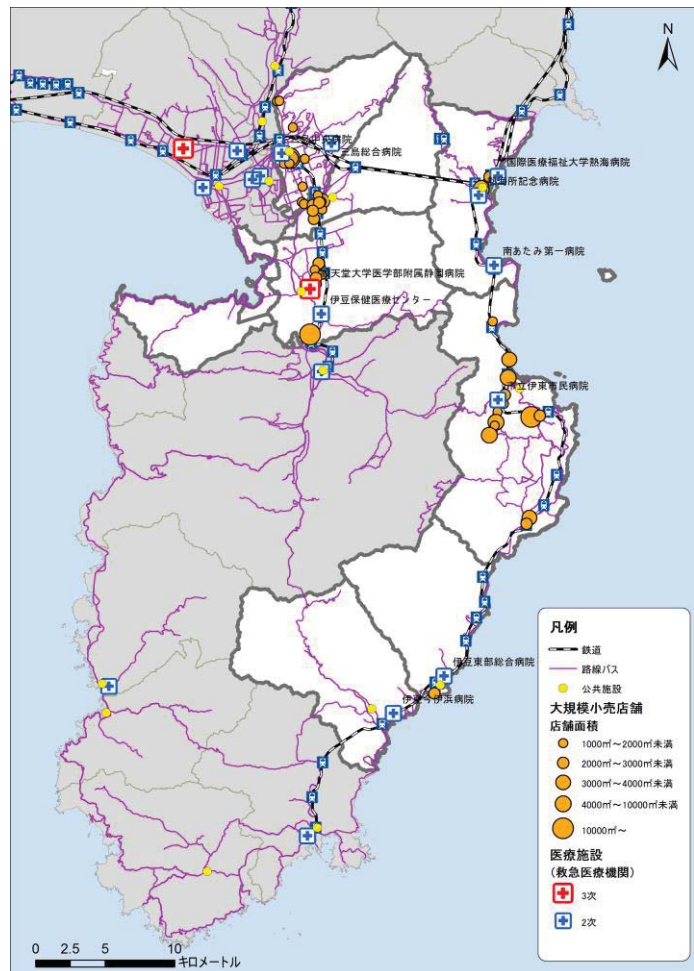
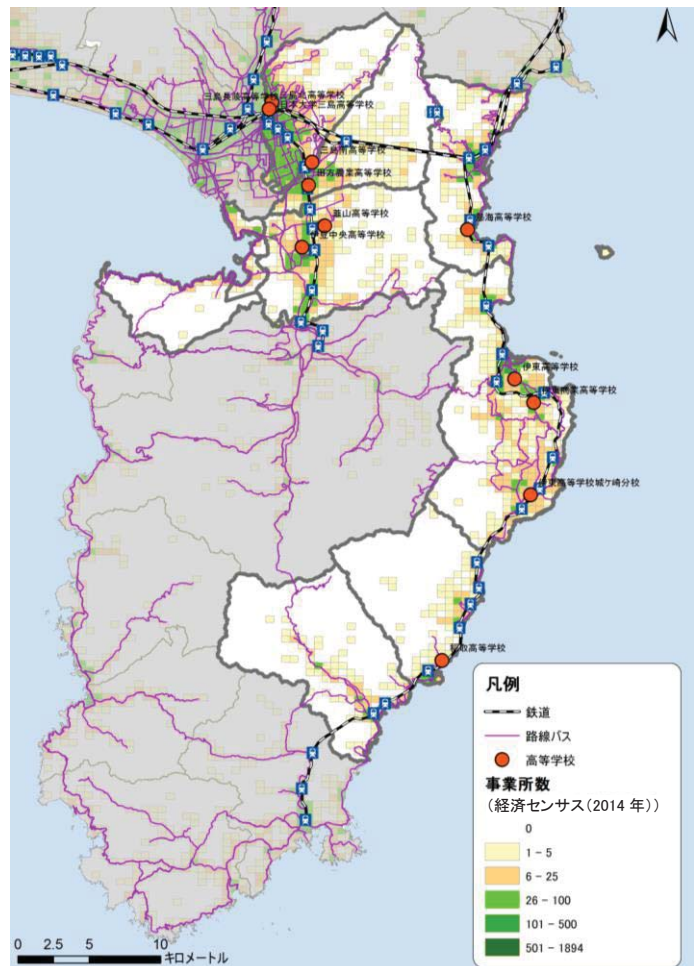


表 5 施設のカバー状況

	施設数	鉄道駅、バス停 500m以内	
		施設数	カバー率
高等学校	11	11	100.0%
事業所	18,819	17,045	90.6%

出典：高等学校は国土数値情報（2013 年）
事業所メッシュは経済センサス（2014 年）

図 10 高等学校、事業所の立地状況
出典：国土数値情報（2013 年）
経済センサス（2014 年）



4. 産業構造

- ・本地域の産業構造は、第3次産業が中心となっており、特に観光関連の従業者数の割合が高く、観光が基幹産業となっている。

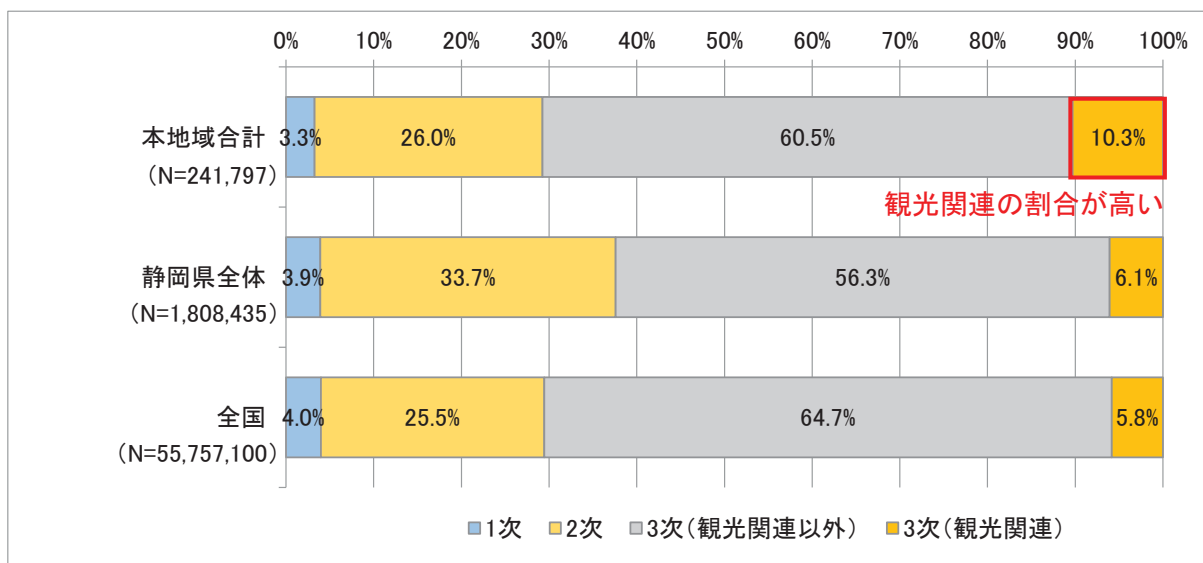


図 11 産業構造

出典：国勢調査（2015年）

※沼津市は市全体

5. 観光交流客の推移

- ・観光交流客は、2011年度以降、増加傾向にあり、本地域の観光交流客の伸び率は県全体を上回っている。
- ・観光交流客は、1年のうち8月が最も多く、最も少ない6月の2.6倍程度である。繁忙期と閑散期の差が大きいことが特徴である。

表 6 観光交流客数（2016年度）

	観光交流客数
本地域	3,670 万人
静岡県全体	15,294 万人

（※沼津市は市全体のデータ）

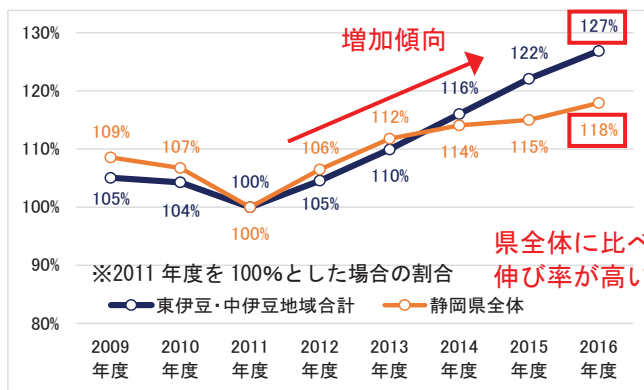


図 12 観光交流客数の年別推移



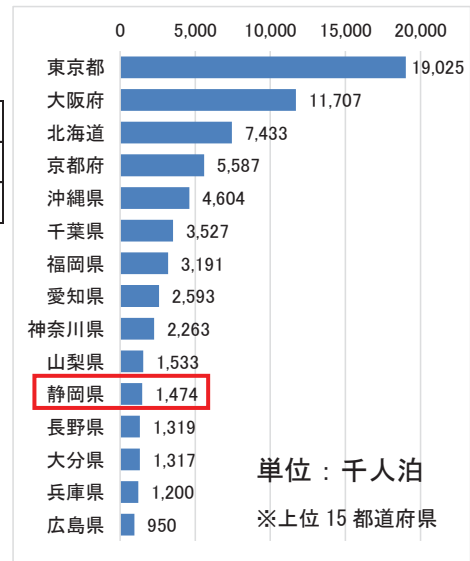
図 13 観光交流客数の月別推移（2016年度）

出典：静岡県観光交流の動向

・本県に宿泊する外国人は増加傾向にあり、全国と比較しても増加率は高い。

表 7 外国人延べ宿泊者数の推移

単位:千人泊						
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2017年/2013年
全国	33,496	44,825	65,615	69,389	78,004	2.33
静岡県	560	786	1,740	1,570	1,474	2.63



出典:観光庁・宿泊旅行統計調査

図 14 都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2017年)

6. 観光関連施設の立地状況

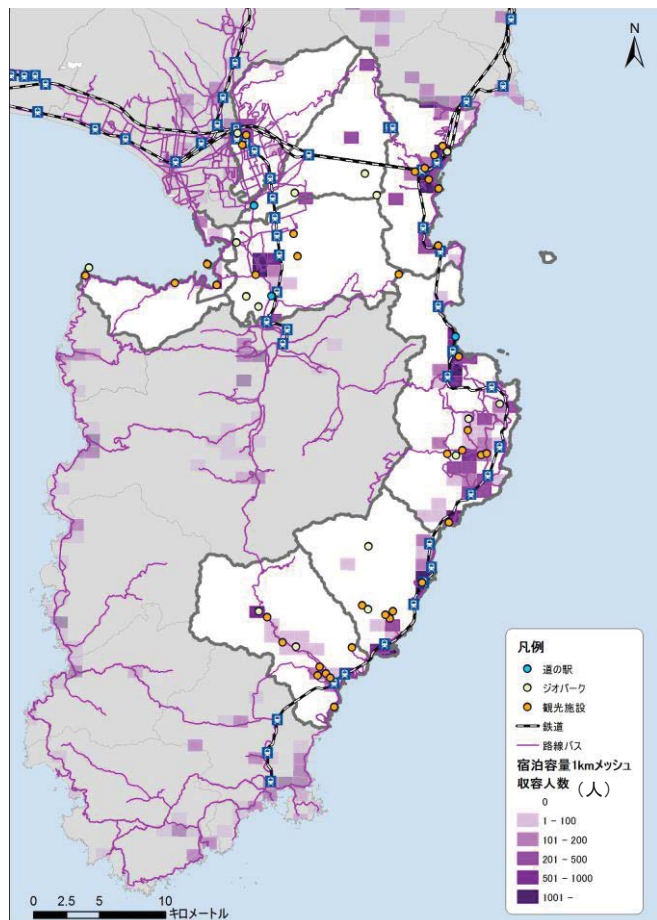
・宿泊施設、観光施設ともに、鉄道駅、バス停の周辺に多く立地しており、8割から9割程度の施設には既存の公共交通網でアクセスすることが可能である。

表 8 観光施設のカバー状況

	施設数	鉄道駅、バス停 500m以内	
		施設数	カバー率
観光施設	321	254	79.1%

表 9 宿泊容量のカバー状況

	宿泊容量 (人)	鉄道駅、バス停 500m以内	
		宿泊容量 (人)	カバー率
宿泊施設	37,512	33,385	89.0%



出典:国土数値情報(2010年)

図 15 観光施設及び宿泊容量の分布

1-2 公共交通の状況

1. 公共交通網の概況

- ・ 本地域は、5つの地域に分かれた地域内移動とその地域をつなぐ広域移動の公共交通で構成されている。
- ・ 広域移動の公共交通として、南北に運行している2本の鉄道と、それをつなぐ広域路線バスが運行している。
- ・ 地域内移動の公共交通として、路線バス、デマンド型交通、タクシーが運行している。

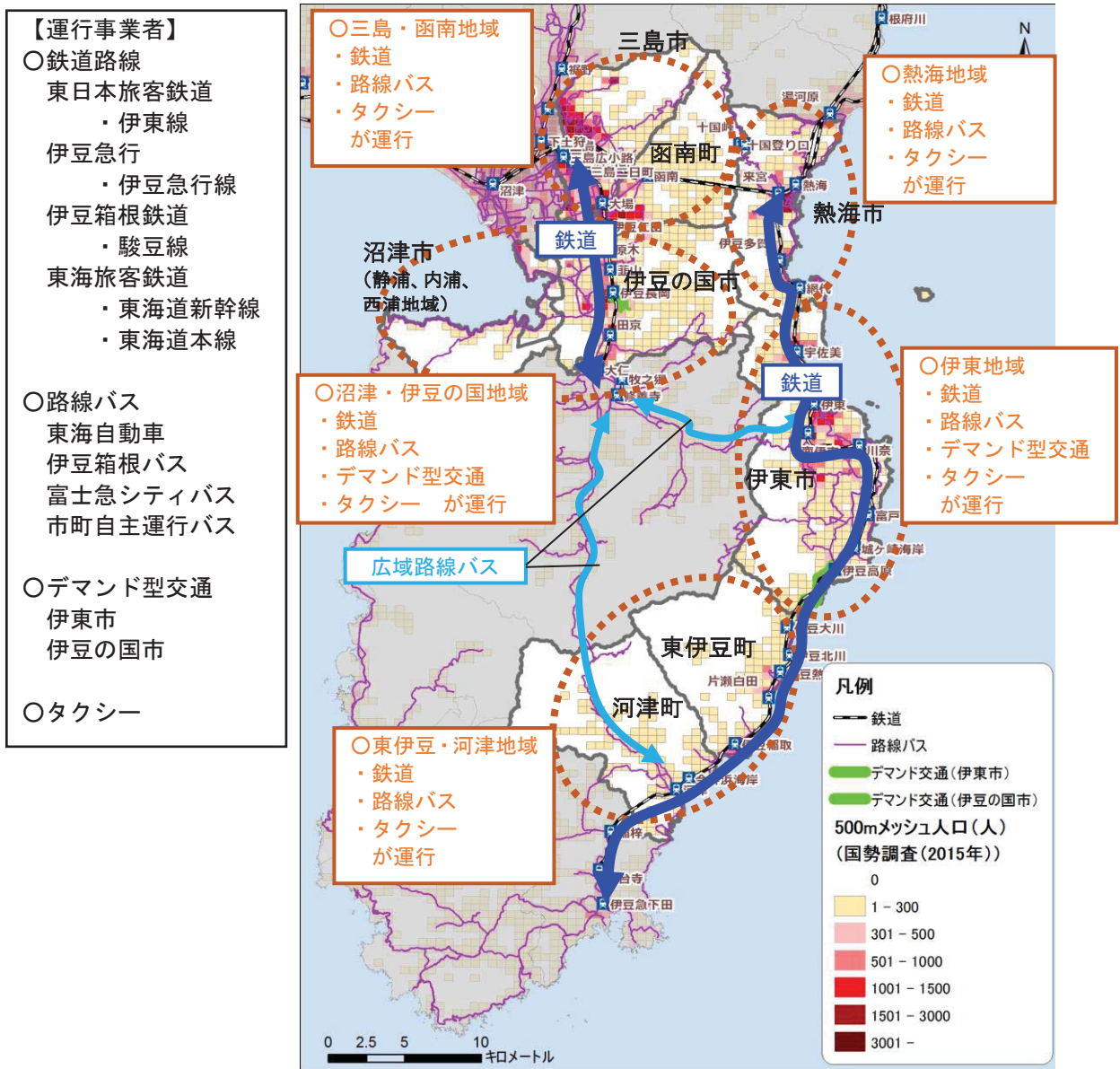


図 16 公共交通網の概況

2. 鉄道の現状

- ・鉄道は、熱海駅から東海岸沿いにJR伊東線、伊豆急行線、三島駅から本地域中央部を伊豆箱根鉄道駿豆線が南北に運行している。
- ・運行本数は、JR伊東線・伊豆急行線は各駅停車が1時間1～2本程度、特急が1時間1本程度、伊豆箱根鉄道駿豆線は各駅停車が1時間に4本程度、特急が1日2本程度運行している
- ・過去5年間において利用者数に大きな変動は見られない。

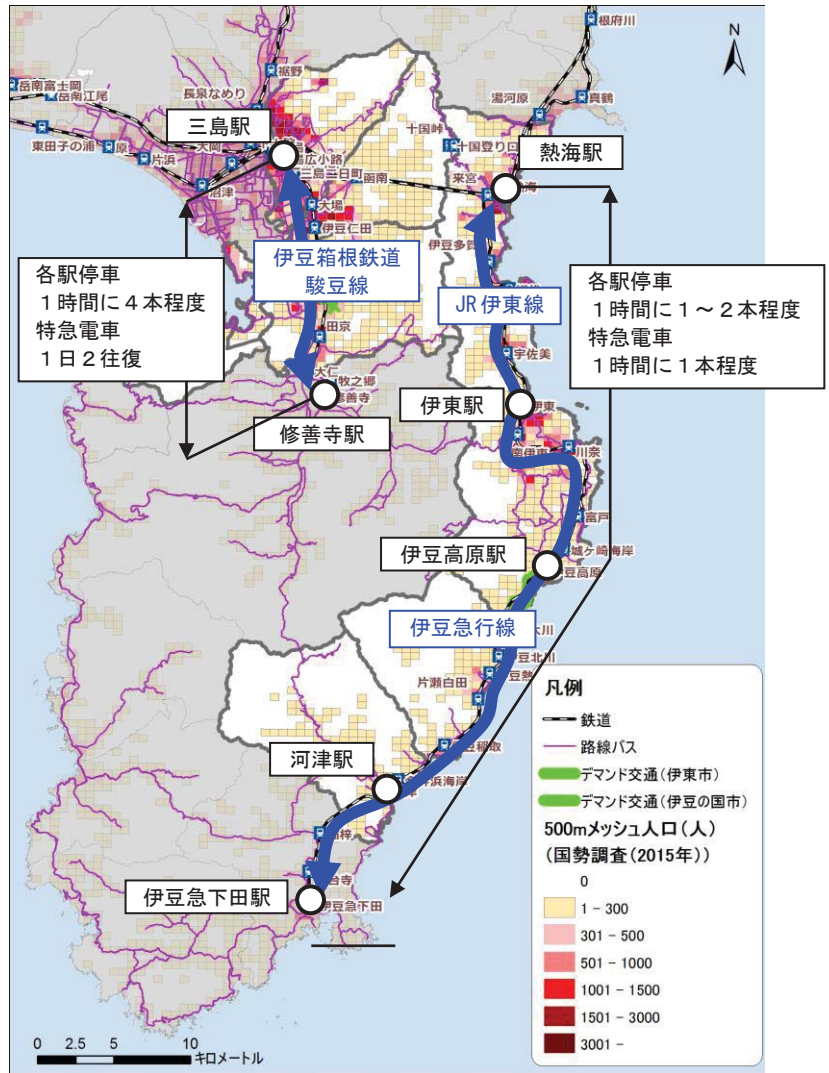


図 17 鉄道網の状況

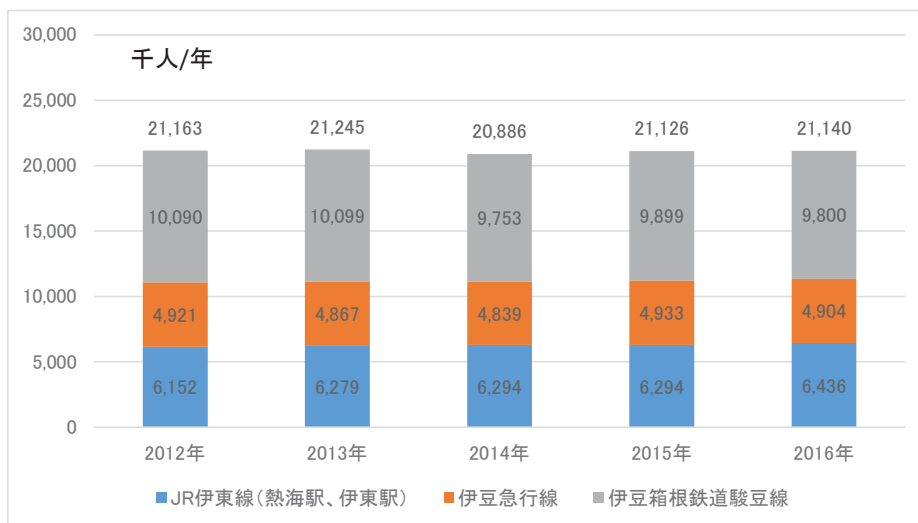


図 18 鉄道利用者数の推移

出典：静岡県統計年鑑

3. 路線バスの現状

- ・伊東と修善寺、河津と修善寺を結ぶ**広域路線バス**のほか、5つの**地域内の路線バス**が運行している。
- ・運行本数は、中心部では1時間4本程度と多いが、広域路線バスは1時間1本程度の箇所もあり、**鉄道と比べ本数が少ない**。
- ・過去5年間において**利用者数に大きな変動は見られない**。

表 10 路線バスの利用者数
(2016年度)

3事業者合計	9,546 千人
東海自動車	6,044 千人
伊豆箱根バス	2,635 千人
富士急シティバス	867 千人

出典：交通事業者提供データ

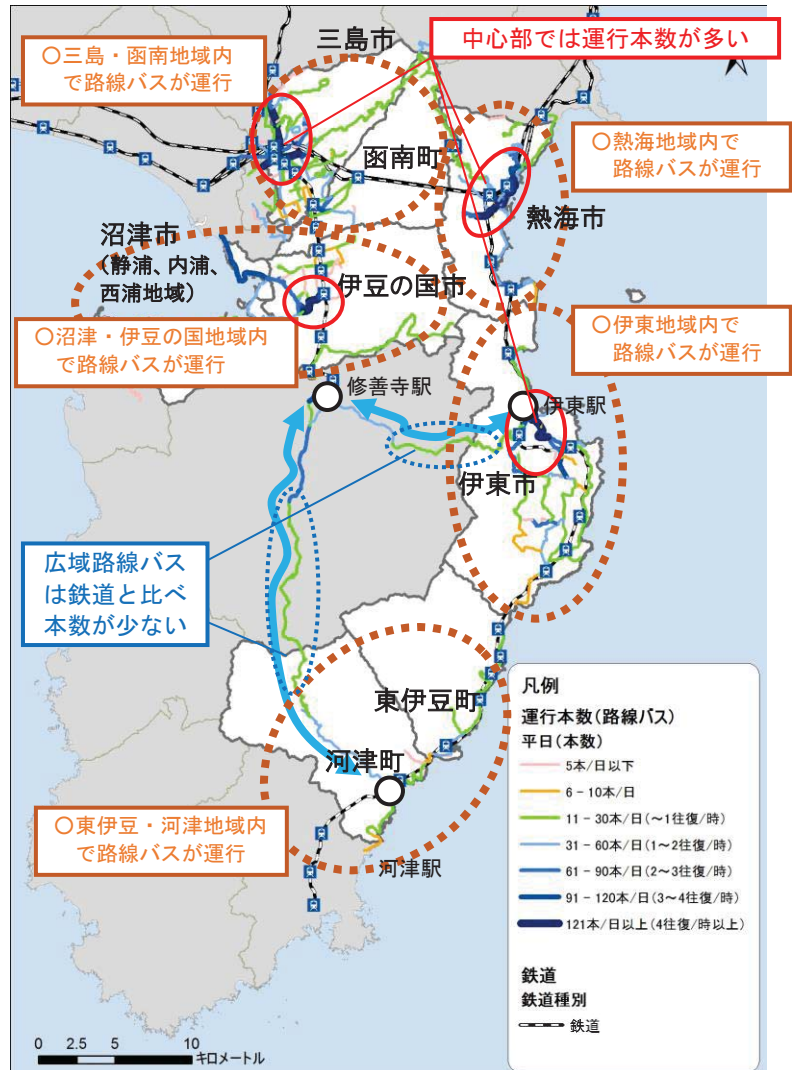


図 19 路線バス網の状況

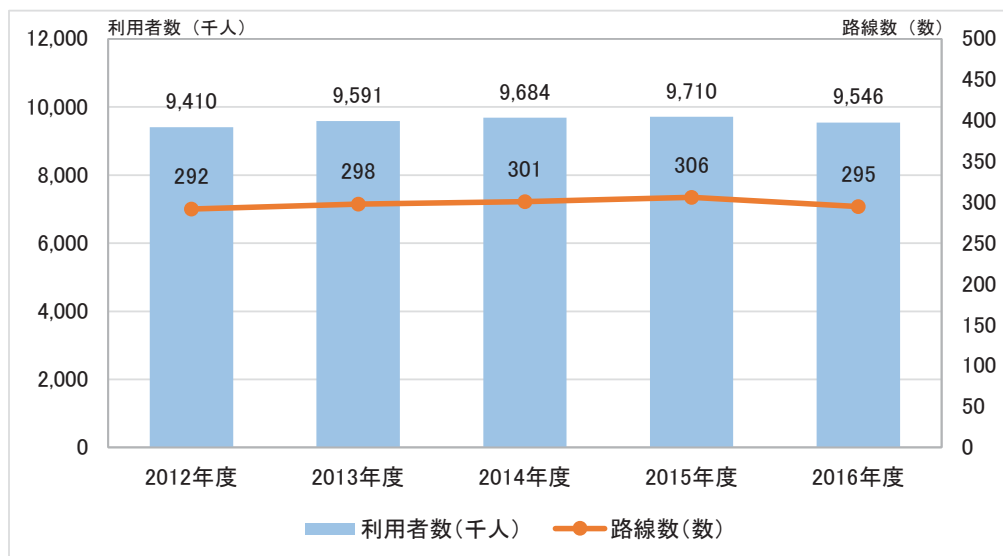


図 20 路線バスの路線数及び利用者数の推移
(東海自動車、伊豆箱根バス、富士急シティバスの合計)

出典：交通事業者提供データ

- ・運行路線において、異なるバス事業者が区間、時間ともに**重複して運行**する箇所が見られる。
- ・地域全般にわたり、**収支率が低い路線**が見られる。補助を行う市町の負担は1億5千万円程度と近年横ばいで推移しており、**財政の逼迫が懸念**される。
- ・乗務員の高齢化が進んでおり、**さらなる乗務員不足が懸念**されている。

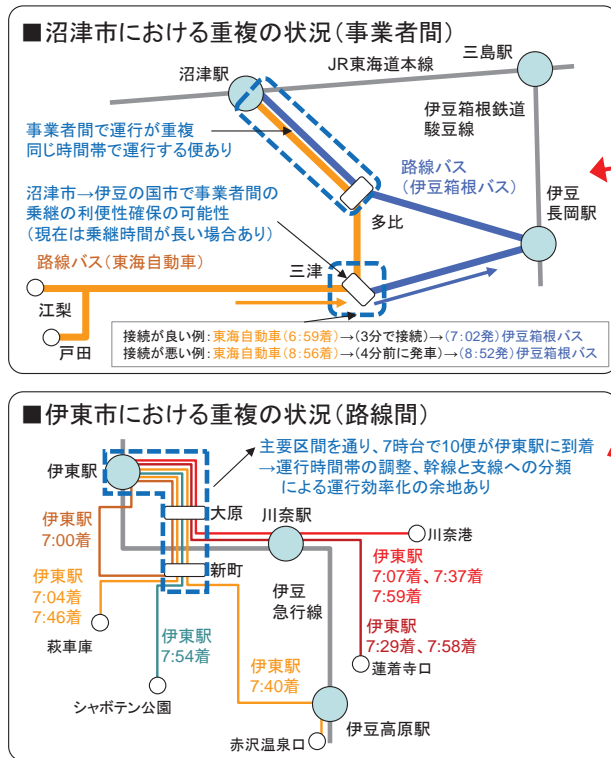


図 21 路線の重複の状況

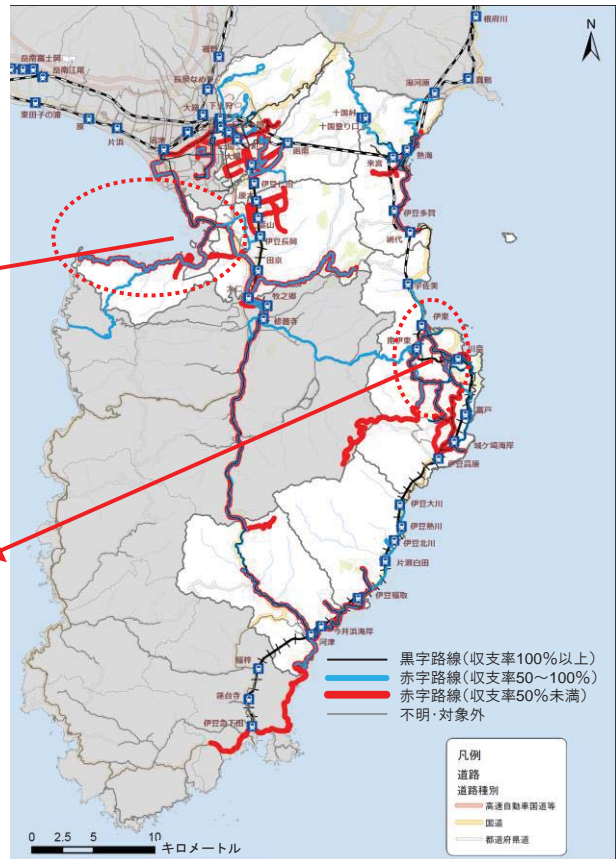


図 22 路線別の収支見込(2016年度)

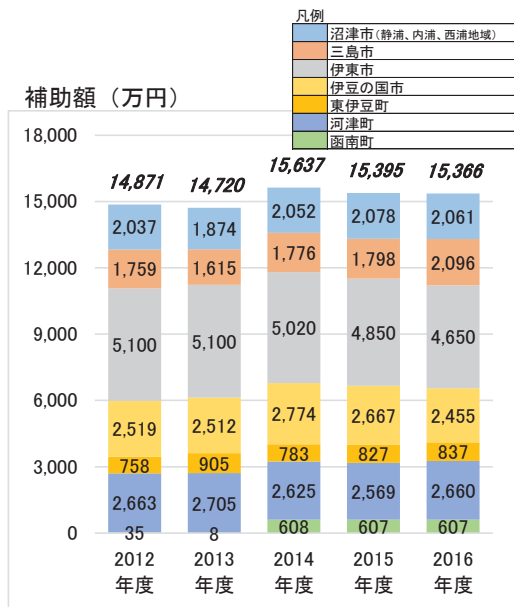


図 23 路線バス等に関する市町の支出
 出典: 市町提供データ

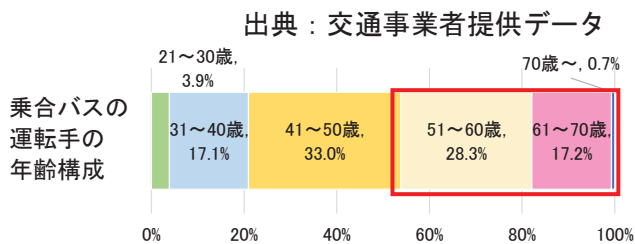


図 24 乗合バスの乗務員の年齢構成

出典: 国土交通省中部運輸局資料
 ※中部運輸局が2014年度に実施した調査結果のうち静岡県内の乗合事業者14者を抽出

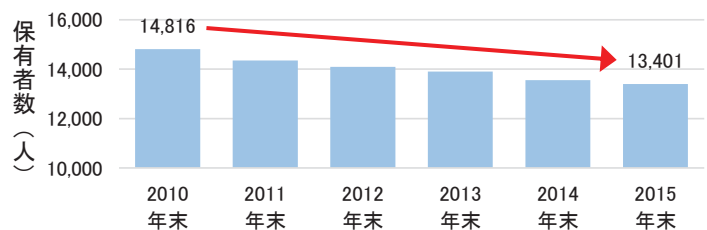


図 25 静岡県の大型二種免許保有者数の推移
 出典: 静岡県警察本部 交通年鑑

4. デマンド型交通の現状

- ・伊東市で2015年10月より、伊豆の国市で2016年5月より運行している。
- ・利用者は1日数人程度（年間300～1,000人程度）であるが、限られた住民が利用している。

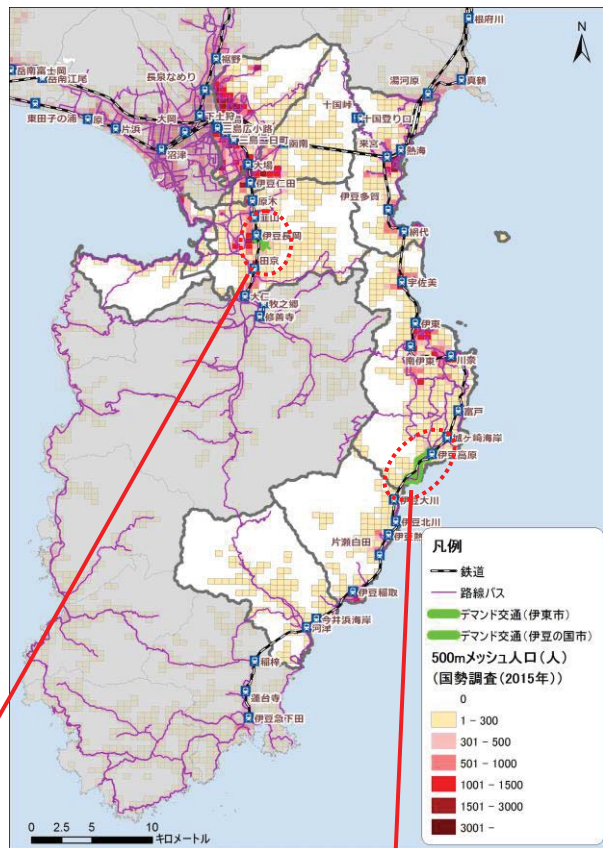


表 11 デマンド型交通の運行状況、利用状況

市町名	伊豆の国市	伊東市
運行日	月～土で運行（日は運休）	毎日運行
運行本数	3往復/日	5往復/日
運行方法	予約があった便のみ運行 予約は運行の30分前まで	予約があった便のみ運行 予約は運行の1時間前まで
運行ルート		
利用者数	1,093人（2016年5月30日～2017年3月31日の263日間）	320人（2016年度）

出典：運行状況は各市町ホームページ、利用者数は各市町提供データ

5. タクシーの現状

- ・タクシーの営業所は、5つの地域に広く分布しているが、車両台数には偏りが見られる。
- ・市町単位でみると、沼津市（静浦、内浦、西浦地域）、河津町においてタクシー営業所が立地していない。

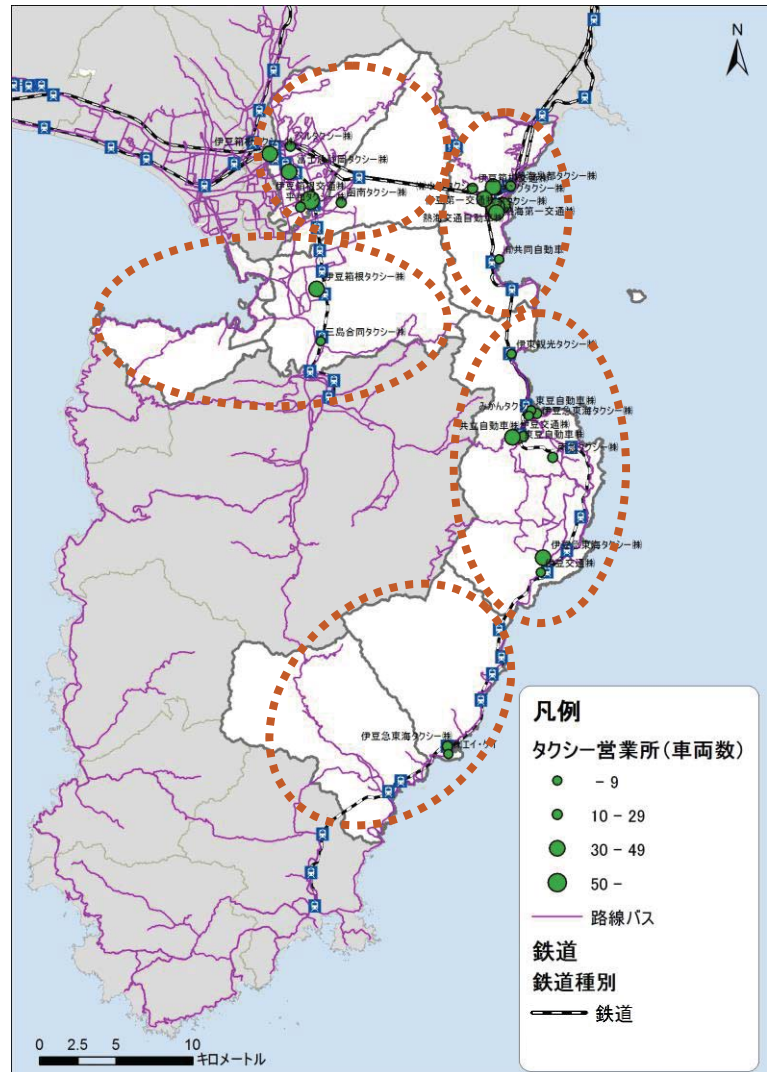
表 12 タクシー利用状況
(2016 年度)

①運行回数	2,606 千回
②乗車密度	1.7 人/回
③利用者数 (①×②)	4,430 千人

出典：静岡県タクシー協会提供資料（2016 年度）

※沼津市、熱海市、三島市、伊東市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、函南町、伊豆市、下田市、西伊豆町、松崎町、南伊豆町の合計

図 26 タクシー営業所の立地
出典：静岡県タクシー協会資料



- ・乗務員数は減少傾向にあり、さらなる乗務員不足が懸念されている。

出典：静岡県タクシー協会資料
(沼津市、熱海市、三島市、伊東市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、函南町、伊豆市、下田市、西伊豆町、松崎町、南伊豆町の合計)

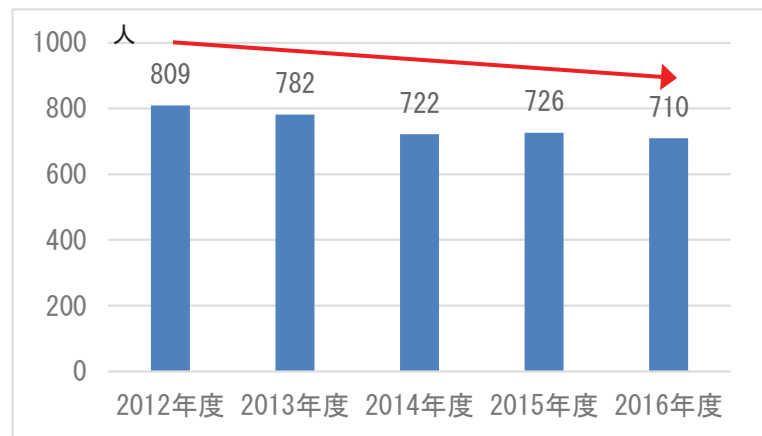


図 27 タクシーの乗務員数の推移

<静岡県タクシー協会へのヒアリング（当地域におけるタクシーの課題）>

乗務員の不足、高齢化への対応への課題

- ・利用の少ない時間帯（深夜・早朝等、シーズン別）の営業見直し、それに伴う利便性悪化。
- ・若年層及び女性の労働力確保の必要性

6. 交通結節点の現状

・鉄道の利用者数が多く、路線バスの乗入れが多い主要な交通結節点として7つの鉄道駅がある。

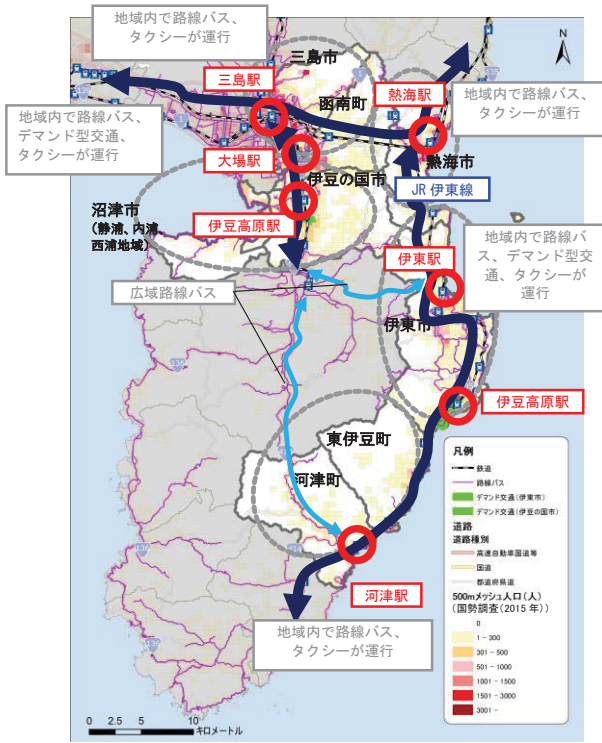


図 28 主要な交通結節点位置図

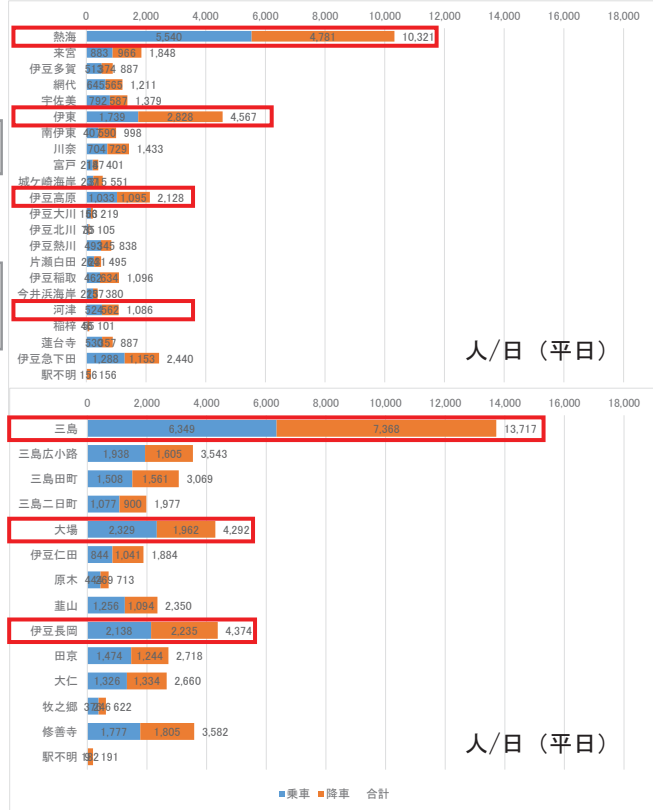


図 29 鉄道駅の乗降客数

出典：伊豆地域鉄道利用状況調査（2016 年度実施）

・乗降スペースや屋根、ベンチ等のハードの施設は概ね整備されている一方で、運賃表示や所要時間などの案内情報が整備されていない。

表 13 主要な交通結節点における施設の整備状況

	バス乗降場					備考	タクシー乗降場					観光案内板	その他
	乗降スペース	屋根・ベンチ	行き先表示	運賃表示	所要時間表示		専用スペース	屋根・ベンチ	運賃・行き先表示	備考			
熱海	○	○	○	×	×	駅前広場内に確保	○	○	×	駅前広場内に確保	○	観光案内所が併設	
伊東	○	○	○	×	○	駅前広場内に確保	○	○	×	駅前広場内に確保	○	観光案内所が併設	
伊豆高原	○	○	○	×	×	駅前広場内に確保	○	○	×	駅前広場内に確保	○	観光案内所が併設	
河津	○	○	○	×	×	駅前広場内に確保	○	○	×	駅前広場内に確保	○	観光案内所が併設	
三島	○	○	○	×	×	駅前広場内に確保	○	○	×	駅前広場内に確保	○	観光案内所が併設	
大場	○	○	○	×	×	駅前広場内に確保	○	○	×	駅前近接でタクシー営業所あり	×		
伊豆長岡	○	×	○	×	×	駅前広場内に確保	○	○	×	駅前広場内に確保	○	観光案内所が併設	

【熱海駅の路線バス乗り場】



【三島駅の路線バス乗り場】



【伊東駅の路線バス乗り場】



【伊豆高原駅のタクシー乗り場】

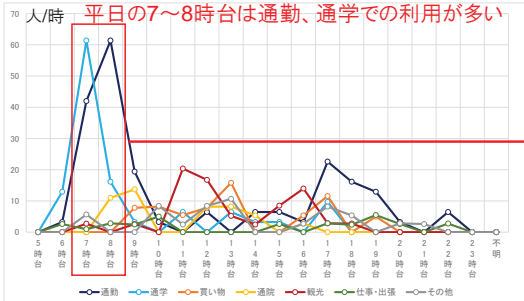


- ・乗継時間について、主要な駅や利用者が多い時間帯においても **30分以上と長い場合がある。**

＜河津駅におけるバス-鉄道の乗継の例＞

【平日の朝時間帯（バス→鉄道）】

■河津駅の時間帯別目的別利用者数(平日)



※平成28年度に実施した鉄道利用状況調査より

■河津駅での路線バスから鉄道への乗継(平日の始発～8時台)

○路線バス → 鉄道(伊東方面へ)

路線バス		河津七滝方面		今井浜方面		鉄道
下条方面	河津七滝方面	河津七滝方面	乗継時間	河津七滝方面	乗継時間	伊東方面
河津駅着	乗継時間	河津駅着	乗継時間	河津駅着	乗継時間	河津駅発
6:49	0:35	6:46	0:02	7:05	0:19	6:48
7:24	0:24	7:45	0:03	-	-	7:24
-	-	-	-	-	-	7:48
-	-	-	-	-	-	8:21

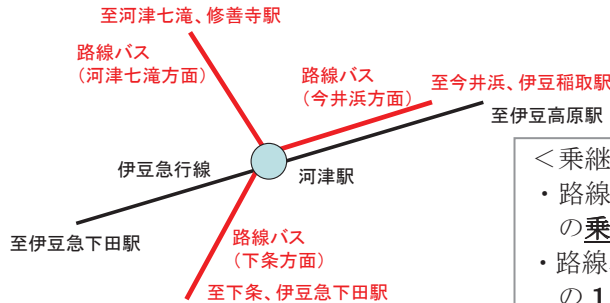
※次の便は8:27着

○路線バス → 鉄道(下田方面へ)

路線バス		河津七滝方面		今井浜方面		鉄道
下条方面	河津七滝方面	河津七滝方面	乗継時間	河津七滝方面	乗継時間	下田方面
河津駅着	乗継時間	河津駅着	乗継時間	河津駅着	乗継時間	河津駅発
6:49	0:23	6:46	0:26	7:05	0:07	6:35
7:24	0:24	7:45	0:03	-	-	7:12
8:27	0:08	-	-	8:25	0:10	7:48
-	-	-	-	-	-	8:35

※鉄道事業者、バス事業者の時刻表より整理

15分以内で乗継
15分～30分の乗継
30分以上の乗継
- 接続なし



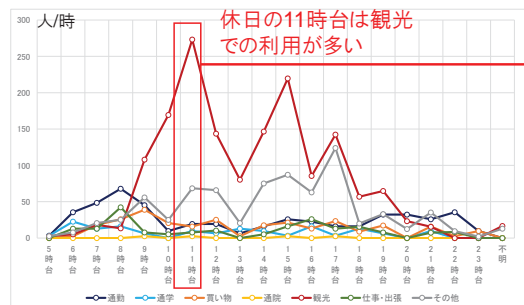
＜乗継に問題がある例＞

- ・路線バス（河津七滝方面）と鉄道（伊東方面）の乗継時間が**2分と短い**
- ・路線バス（下条方面）が6:49に到着するが、その**1分前（6:48）に鉄道（伊東方面）が発車**

＜伊東駅におけるバス-鉄道の乗継の例＞

【休日の日中時間帯（バス→鉄道、鉄道→バス）】

■伊東駅の時間帯別目的別利用者数(休日)



※平成28年度に実施した鉄道利用状況調査より

■伊東駅での路線バスから鉄道への乗継(休日の11時台)

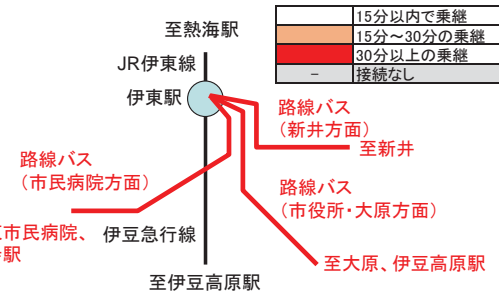
○路線バス → 鉄道(熱海方面へ)

路線バス		新井方面		伊東市民病院方面		鉄道
市役所・大原方面	新井方面	伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間	熱海方面
伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間	伊東駅発
10:50	0:15	-	-	10:53	0:12	11:05
11:20	0:14	-	-	11:05	0:29	11:34

○路線バス → 鉄道(伊豆高原方面へ)

路線バス		新井方面		伊東市民病院方面		鉄道
市役所・大原方面	新井方面	伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間	伊豆高原方面
伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間	伊東駅発
11:05	0:13	11:05	0:13	11:05	0:13	11:18
11:20	0:15	11:05	0:30	11:05	0:30	11:35
11:35	0:11	-	-	-	-	11:46

※鉄道事業者、バス事業者の時刻表より整理



■伊東駅での鉄道から路線バスへの乗継(休日の11時台)

○鉄道(熱海方面から) → 路線バス

鉄道	市役所・大原方面		新井方面		伊東市民病院方面	
熱海から	伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間
特急	11:16	→	11:30	0:14	11:45	0:29
特急	11:35	→	12:00	0:25	11:45	0:10
特急	11:46	→	12:00	0:14	12:45	0:59
					13:30	1:44

○鉄道(伊豆高原方面から) → 路線バス

鉄道	市役所・大原方面		新井方面		伊東市民病院方面	
伊豆高原から	伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間	伊東駅着	乗継時間
特急	11:03	→	11:30	0:27	11:45	0:42
特急	11:34	→	12:00	0:26	11:45	0:11
					11:40	0:06

※鉄道事業者、バス事業者の時刻表より整理

7. その他の現状

- ・観光客が公共交通を利用する際に使用が想定されるフリーパス、観光セット券は下表のとおり多数の種類が発行されている。複数の交通事業者で利用可能なものもあるが、すべての公共交通で利用可能なものはないなど、観光客にとって選びにくいことも想定される。

表 14 フリーパス、観光セット券

種別	名称	金額		利用可能期間	利用エリア								利用可能交通事業者				
		大人	子供		沼津市	熱海市	三島市	伊東市	伊豆の国市	東伊豆町	河津町	函南町	東海自動車	伊豆箱根バス	伊豆急行	伊豆箱根鉄道	JR東日本
フリーパス	南伊豆フリーパス	2,790	1,400	2日								○					
	天城路フリーパス	1,900	950	2日							○	○					
	みしまるきっぷ	900	450	1日			○					○					
	伊東観光フリーパス	1,300	650	1日				○				○					
	伊豆高原・城ヶ崎バスフリーきっぷ	800	400	1日				○				○					
	熱海満喫乗車券	500	300	1日		○						○					
	絶景富士山乗車券	1,200	600	1日		○						○					○
	箱根旅助け	3,000	1,500	2日		○						○					○
	箱根バスフリー(1日)	1,700	850	1日		○						○					
	箱根バスフリー(2日)	2,000	1,000	2日		○						○					
	旅助け(駿豆線一日乗り放題)	1,020	520	1日			○								○		
	Izuhakone Line One-day Pass(RAIL&BUS)	1,000	500	1日	○		○					○			○		
	JR東日本「びゅう」※JR+宿泊	※	※	※	○	○		○				○		○	○	○	○
	南伊豆フリー乗車券	6,160	3,080	2日				○		○	○	○		○	○	○	○
	伊豆満喫フリーきっぷ(～28.1.31)	1,700	850	1日				○			○			○			
富士山満喫きっぷ	3,070	1,530	1日	○	○	○	○					○				○	
伊豆ドリームバス(黄金路)	3,700	1,860	3日				○		○	○	○		○				
伊豆ドリームバス(山葵路)	3,900	1,960	3日				○		○	○	○		○				
伊豆ドリームバス(富士見路)	2,800	1,420	2日			○		○			○	○		○			
観光セット券	得トクバスパック(長八美術館)	790	-	-								○					
	得トクバスパック(クリスタルパーク)	3,830	1,920	-								○					
	得トクバスパック(クリスタルパーク)	4,350	2,190	-								○					
	得トクバスパック(土肥金山)	3,160	1,590	-								○					
	得トクバスパック(土肥金山)	4,380	2,210	-								○					
	得トクバスパック(下田海中水族館)	2,000	1,000	-								○					
	得トクバスパック(蓮台寺温泉)	1,400	700	-								○					
	得トクバスパック(南伊豆とれたて浜焼き)	1,500	900	-								○					
	得トクバスパック(石廊崎満喫)	2,860	1,440	-								○					
	得トクバスパック(修善寺虹の郷)	1,610	810	-								○					
	得トクバスパック(サイクルスポーツ)	1,600	970	-								○					
	得トクバスパック(あわしまマリナーパーク)	2,130	1,070	-	○							○					
	得トクバスパック(三津シーパラダイス)	2,730	1,320	-	○							○					
	得トクバスパック(西浦みかん狩り)	2,100	1,200	-	○							○					
	得トクバスパック(沼津港満喫)	400	200	-	○							○					
	得トクバスパック(アカオハーブ&ローズガーデン)	1,300	650	-		○						○					
	得トクバスパック(MOA美術館)	1,640	1,040	-		○						○					
	得トクバスパック(伊豆高原ステンドグラス美術館)	1,710	-	-				○				○					
	得トクバスパック(伊東マリンタウン)	1,340	720	-				○				○					
	得トクバスパック(小室山リフト・森のぞうがん美術館)	1,200	600	-				○				○					
	得トクバスパック(吉みかん園)	1,260	720	-				○				○					
	得トクバスパック(象牙と石の彫刻美術館～ジュエルピア～)	1,960	-	-				○				○					
	得トクバスパック(池田20世紀美術館)	2,050	-	-				○				○					
	得トクバスパック(箱根路満喫)	1,800	-	-			○					○					
	得トクバスパック(伊豆フルーツパーク)	580	300	-			○					○					
	得トクバスパック(柿田川湧水公園散策)	400	200	-			○					○					
	得トクバスパック(河津七滝)	1,130	570	-						○		○					
	伊豆長岡温泉 湯ったりきっぷ	1,000	-	1日			○					○			○		
	修善寺虹の郷セット券	1,770	880	-								○			○		
	伊豆・三津シーパラダイスセット券	2,280	1,130	-	○		○					○			○		
	下田海中水族館割引観光セット券	3,060	1,530	2日				○						○			
	伊豆シャボテン公園観光セット乗車券	3,010	1,470	2日				○				○			○		
	伊豆熱川バナナワ二園観光セット乗車券	2,220	1,070	2日				○				○			○		
伊豆アニマルキングダム観光セット乗車券	2,940	1,470	2日				○				○			○			
その他	フェリーバスセット券(松崎)	3,060	1,540	1日								○					
	フェリーバスセット券(堂ヶ島)	2,940	1,480	1日								○					
	フェリーバスセット券(黄金崎)	2,600	1,310	1日								○					
	ぶらっと伊豆高原割引往復乗車券	940	470	1日				○						○			
いずたく切符	2割引	2割引	伊豆急行 タカシロ				○						○				

1-3 移動実態と意向

1. 鉄道の利用実態

- ・鉄道利用者のうち、本地域外を出発地とした利用者は約3割であり、J R伊東線、伊豆急行線では、東京都、神奈川県からが半数程度を占める。
- ・時期や時間帯によって利用者数や利用目的に違いが見られる。

■休日利用者の出発地（J R伊東線、伊豆急行線）

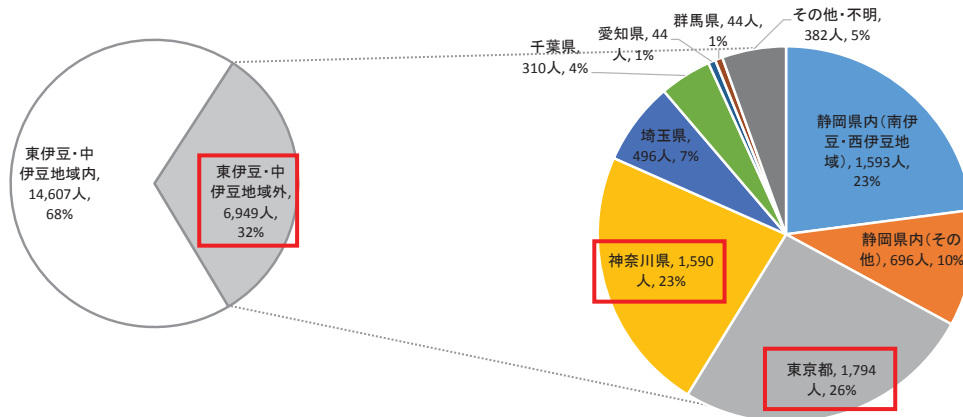


図 30 J R伊東線・伊豆急行線利用者の出発地

出典：伊豆地域鉄道利用状況調査（2016年度実施）

■休日利用者の出発地（伊豆箱根鉄道駿豆線）

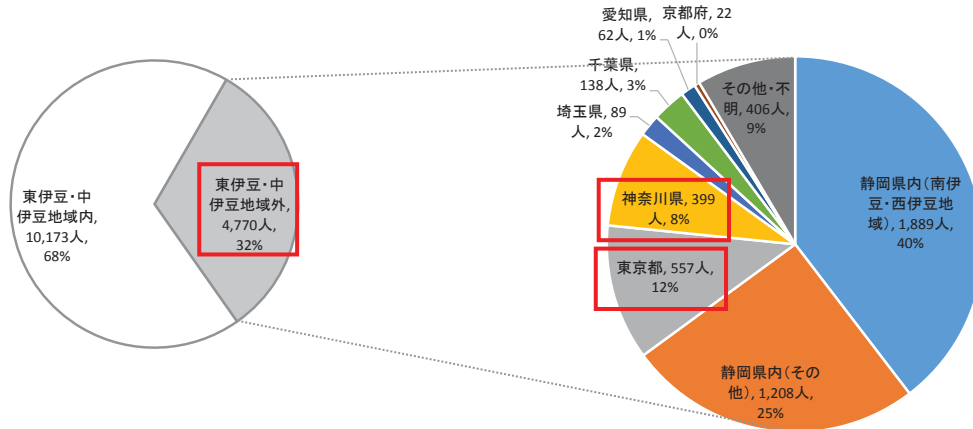


図 31 伊豆箱根鉄道駿豆線利用者の出発地

出典：伊豆地域鉄道利用状況調査（2016年度実施）

■鉄道の月別利用者数

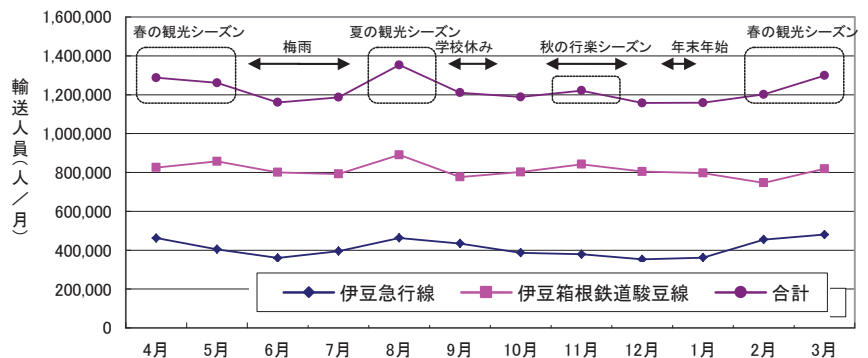
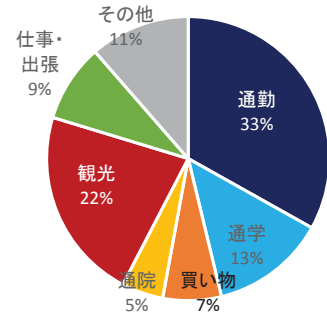
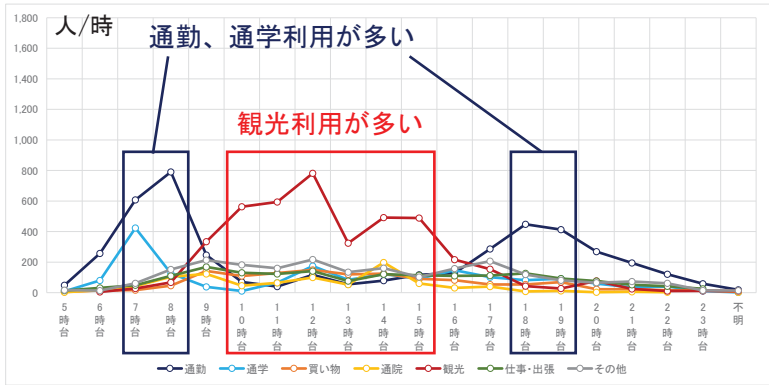


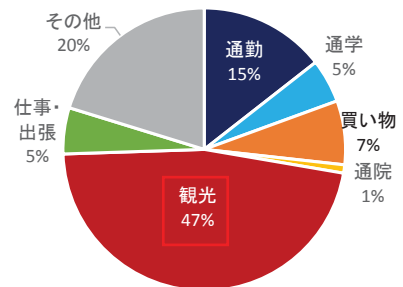
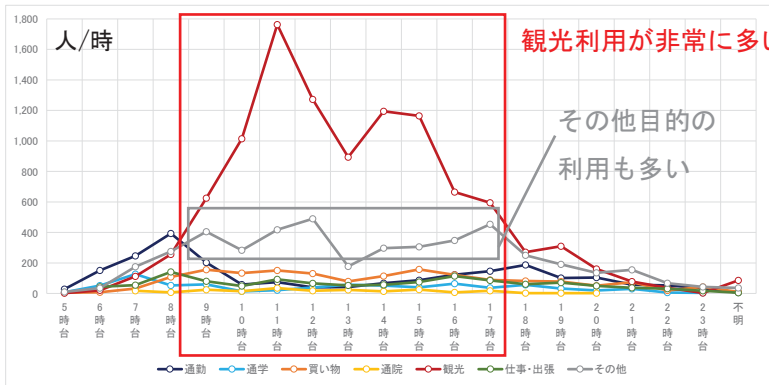
図 32 鉄道の月別利用者数

出典：鉄道事業者提供資料（2015年度）

■平日の目的別時間帯別利用状況（JR伊東線、伊豆急行線）

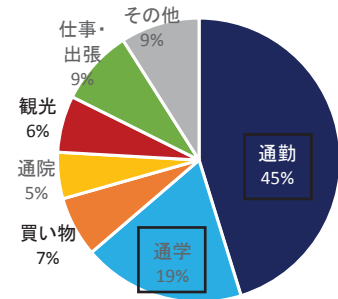
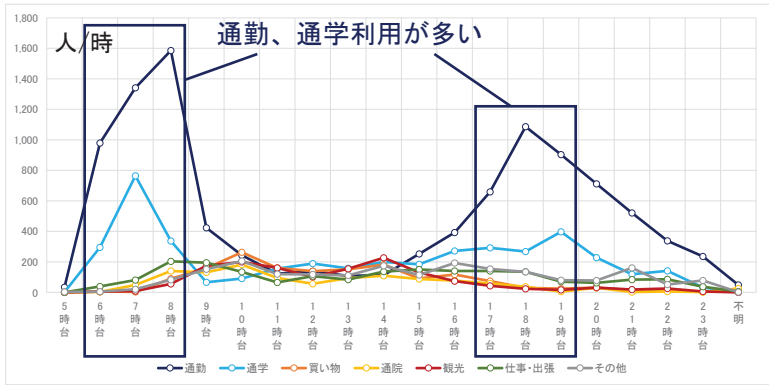


■休日の目的別時間帯別利用状況（JR伊東線、伊豆急行線）



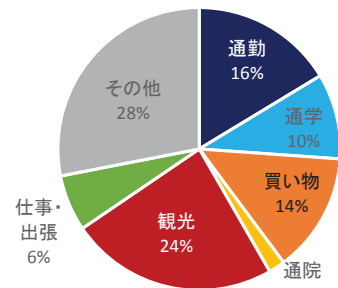
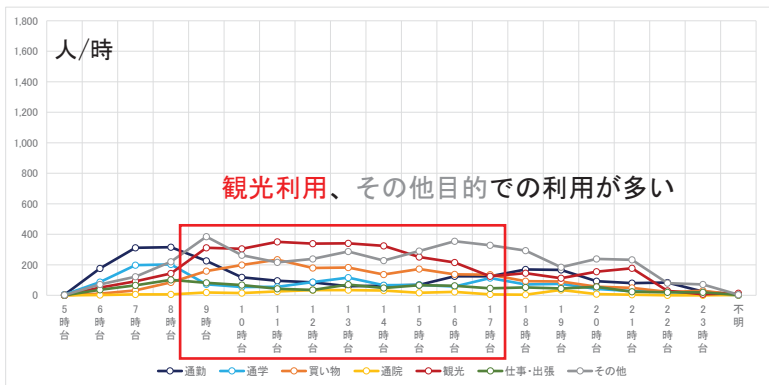
利用者数の半数弱が観光目的

■平日の目的別時間帯別利用状況（伊豆箱根鉄道駿豆線）



通勤、通学利用が多い

■休日の目的別時間帯別利用状況（伊豆箱根鉄道駿豆線）



出典：伊豆地域鉄道利用状況調査（2016年度実施）

2. 路線バスの利用実態

(1) 広域路線バスの状況

- ・広域路線バスにおいて、5地域内の移動は多いが、地域をまたいだ広域移動は少ない。
- ・河津駅～修善寺駅は観光客の利用が多く見られるが、伊東駅～修善寺駅は観光客の利用が少ない。
- ・時間帯によって利用者数や利用目的に違いが見られる。

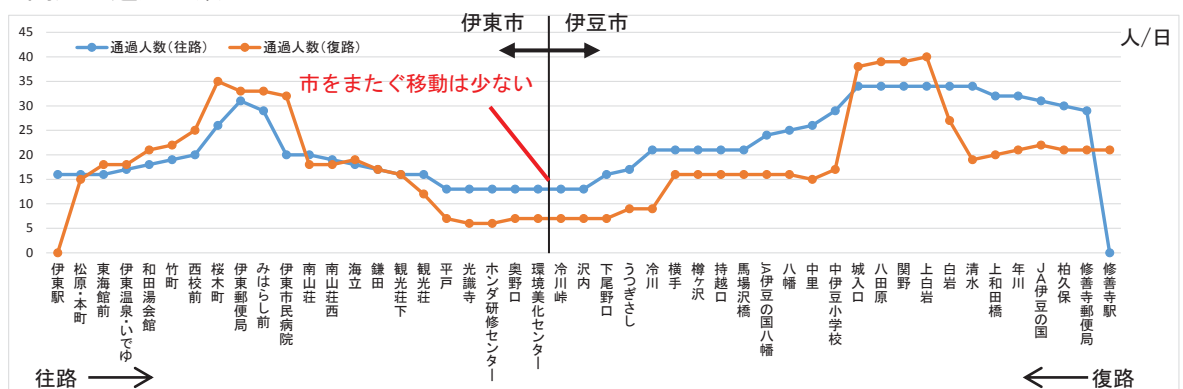


1) 伊東駅～修善寺駅線

■利用属性、利用目的、移動区間の状況

往復	利用者数	利用者属性				利用目的				移動区間			
		小学生	中学生	高校生	一般	通勤	通学	観光	その他	市伊内東	市伊内豆	伊東⇄伊豆市	伊豆市
往路(伊東駅→修善寺駅)	58	2	0	13	43	11	15	3	29	22	23	13	
復路(修善寺駅→伊東駅)	87	22	1	8	56	15	31	0	41	36	42	7	

■区間別の通過人数

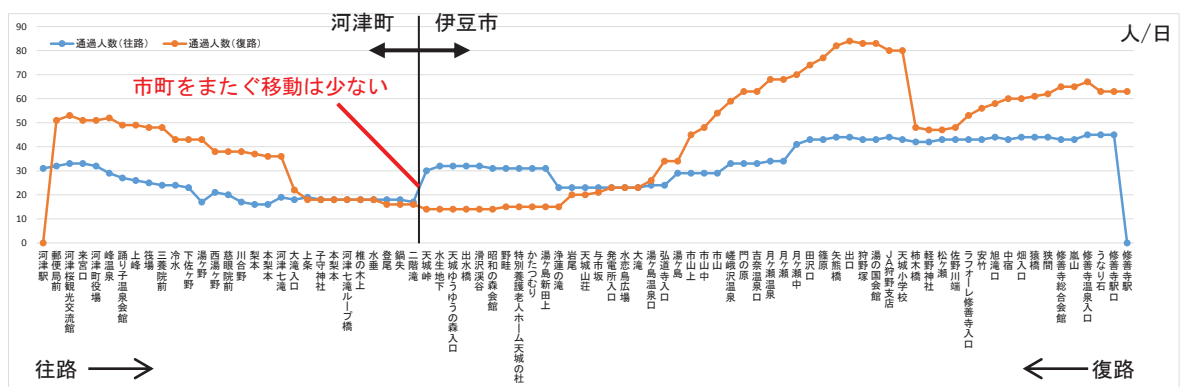


2) 河津駅～修善寺駅線

■利用属性、利用目的、移動区間の状況

往復	利用者数	利用者属性				利用目的				移動区間			
		小学生	中学生	高校生	一般	通勤	通学	観光	その他	町河内津	市伊内豆	河津⇄伊豆市	伊豆市
往路(河津駅→修善寺駅)	112	5	8	1	98	8	14	49	41	36	59	17	
復路(修善寺駅→河津駅)	186	40	10	2	134	9	49	67	61	57	116	14	

■区間別の通過人数



出典：交通事業者実施による乗降調査データ（2017年度）

(2) 地域内の路線バスの状況

- ・5地域内で運行される路線バスについて、沼津・伊豆の国地域や三島・函南地域ではその他一般利用者による通勤やその他一般目的での利用が多く、熱海地域では観光利用の割合が多く、伊東地域では多様な目的で利用されている。また、東伊豆・河津地域は小学生や中学生、高校生による通学利用が多いなど、地域によって利用属性、利用目的に違いが見られる。

表 15 地域ごとの事業者別利用、収支見込（2016年度）及び利用属性、利用目的（2017年度）

■沼津、伊豆の国地域

	系統数	利用、収支状況					利用状況(事業者乗降調査より、人/日)※東海自動車のみ									
		(人/年)	千円/年	千円/年	千円/年	収支率	利用属性					利用目的			その他一般	
							幼稚園	小学生	中学生	高校生	一般	通勤	通学	観光		
東海自動車	36	1,063,606	332,062	277,632	-54,430	84%	3,330	5	369	93	216	2,647	1,236	698	57	1,339
伊豆箱根バス	21	1,385,605	335,409	279,091	-56,318	83%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

通勤やその他一般利用が多い

■三島、函南地域

	系統数	利用、収支状況					利用状況(事業者乗降調査より、人/日)※東海自動車のみ									
		(人/年)	千円/年	千円/年	千円/年	収支率	利用属性					利用目的			その他一般	
							幼稚園	小学生	中学生	高校生	一般	通勤	通学	観光		
東海自動車	36	1,061,333	261,052	246,475	-14,577	94%	3,092	3	18	3	210	2,858	1,339	253	28	1,472
伊豆箱根バス	21	924,078	277,139	203,007	-74,132	73%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士急シティバス	26	866,821	259,486	192,058	-67,428	74%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

通勤やその他一般利用が多い

■熱海地域

	系統数	利用、収支状況					利用状況(事業者乗降調査より、人/日)※東海自動車のみ									
		(人/年)	千円/年	千円/年	千円/年	収支率	利用属性					利用目的			その他一般	
							幼稚園	小学生	中学生	高校生	一般	通勤	通学	観光		
東海自動車	34	2,601,753	362,702	249,705	-112,997	69%	6,272	5	90	232	118	5,827	1,318	419	1,462	3,073
伊豆箱根バス	8	657,171	96,551	131,601	35,050	136%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

他地域と比較して観光利用が多い

■伊東地域

	系統数	利用、収支状況					利用状況(事業者乗降調査より、人/日)※東海自動車のみ									
		(人/年)	千円/年	千円/年	千円/年	収支率	利用属性					利用目的			その他一般	
							幼稚園	小学生	中学生	高校生	一般	通勤	通学	観光		
東海自動車	67	1,695,018	514,499	390,570	-123,929	76%	4,117	6	68	162	534	3,347	972	1,725	434	1,986

■東伊豆・河津地域

	系統数	利用、収支状況					利用状況(事業者乗降調査より、人/日)※東海自動車のみ									
		(人/年)	千円/年	千円/年	千円/年	収支率	利用属性					利用目的			その他一般	
							幼稚園	小学生	中学生	高校生	一般	通勤	通学	観光		
東海自動車	23	335,107	134,358	91,457	-42,901	68%	847	53	61	23	281	429	26	415	150	256

通学利用の割合が大きい

出典：各交通事業者提供データ（2016年度）
東海自動車の利用状況は乗降調査データ（2017年度）

3. 生活移動の実態

- 生活移動の中で主に利用される公共交通は、鉄道と路線バスである。

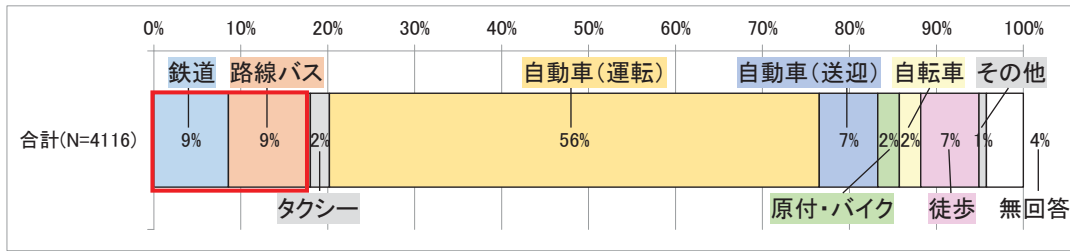


図 33 生活移動で主に利用する交通手段 出典：地域住民アンケート調査

- 鉄道は、通勤・通学、買い物、通院いずれも J R伊東線・伊豆急行線と伊豆箱根鉄道駿豆線それぞれの鉄道路線沿線での移動が多く、5地域を跨いだ広域移動が発生している。

表 16 通勤・通学の移動先

	移動の目的地	移動の目的地										回答者数		
		伊豆急行線沿線				伊豆箱根鉄道駿豆線沿線								
		熱海市	伊東市	東伊豆町	河津町	(西蒲地域・内浦・沼津市)	三島市	伊豆の国市	函南町	西(静浦地域・内浦・沼津市以外)	その他	不明		
伊豆急行線沿線	熱海市	54.9%	3.5%				3.1%	1.2%	1.6%	2.7%	29.0%	3.9%	255	
	伊東市	5.2%	76.9%		0.7%		2.2%	3.7%	0.7%	3.0%	5.2%	2.2%	134	
	東伊豆町	1.3%	30.4%	50.6%	7.6%						1.3%	5.1%	3.8%	79
	河津町		7.6%	17.8%	66.9%			0.8%		0.8%	1.7%	4.2%	236	
伊豆箱根鉄道駿豆線沿線	沼津市(静浦、内浦、西浦地域)					13.8%	10.8%	12.3%		52.3%	9.2%	1.5%	65	
	三島市	1.9%	0.2%				42.3%	3.7%	5.2%	14.4%	30.3%	1.9%	534	
	伊豆の国市	1.1%					12.0%	46.2%	12.5%	13.0%	13.6%	1.6%	184	

表 17 買い物・通院の移動先

	移動の目的地	移動の目的地										回答者数		
		伊豆急行線沿線				伊豆箱根鉄道駿豆線沿線								
		熱海市	伊東市	東伊豆町	河津町	(西蒲地域・内浦・沼津市)	三島市	伊豆の国市	函南町	西(静浦地域・内浦・沼津市以外)	その他	不明		
伊豆急行線沿線	熱海市	59.7%	3.4%				1.3%	1.3%	4.5%	0.6%	28.6%	6.6%	858	
	伊東市	1.5%	90.0%				0.4%	1.7%			2.1%	4.3%	470	
	東伊豆町	1.0%	37.7%	42.5%	9.7%		0.6%	3.6%			1.0%	1.6%	2.3%	308
	河津町	0.3%	4.1%	9.2%	75.9%		1.3%	3.2%		0.5%	1.6%	3.9%	751	
伊豆箱根鉄道駿豆線沿線	沼津市(静浦、内浦、西浦地域)					3.1%	0.8%	31.3%	4.6%	44.3%	12.2%	3.8%	131	
	三島市						65.0%	1.1%	6.0%	2.5%	22.2%	3.2%	1313	
	伊豆の国市	0.2%					3.9%	77.1%	9.9%	1.6%	2.8%	4.6%	567	

出典：地域住民アンケート調査

- 路線バスは、地域内移動での利用が多く、広域移動での利用は少ない。タクシーは、地域内移動での利用が路線バスに比べても多い。

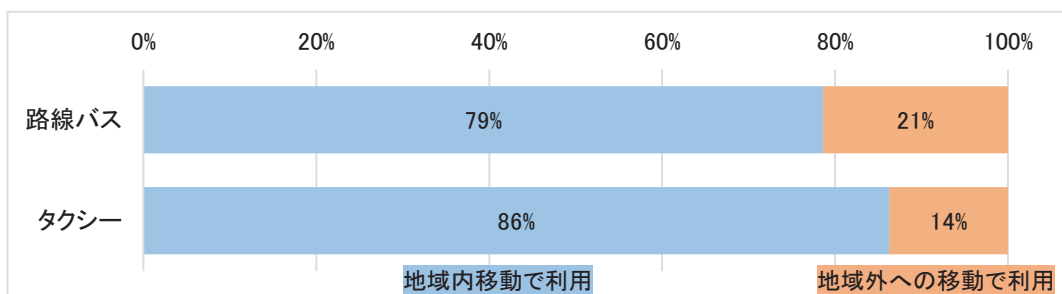


図 34 路線バス、タクシーの移動先 出典：地域住民アンケート調査

- ・鉄道は通勤・通学等の多様な目的で利用されている一方、路線バスは買い物の目的、タクシーは通院の目的での利用が多い。目的に応じて公共交通が使い分けられていると想定される。

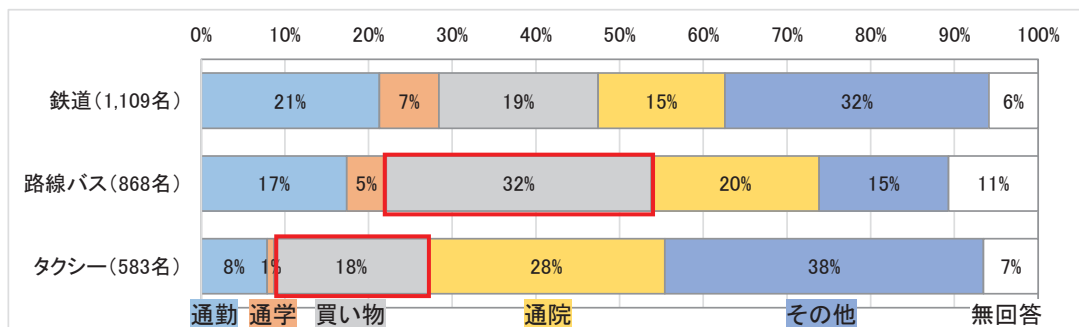
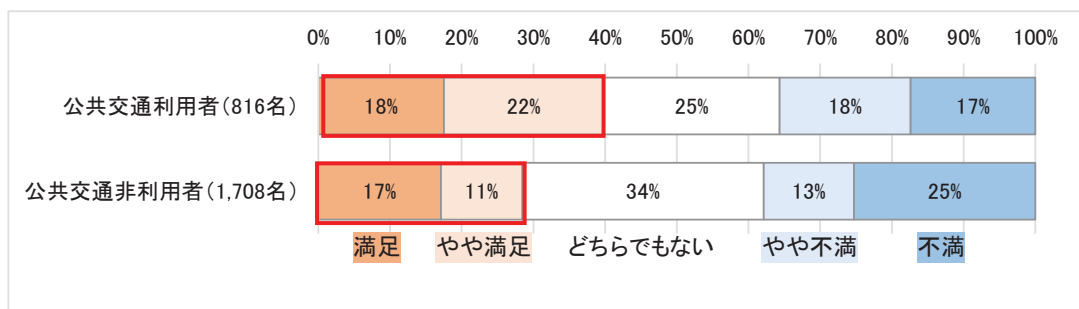


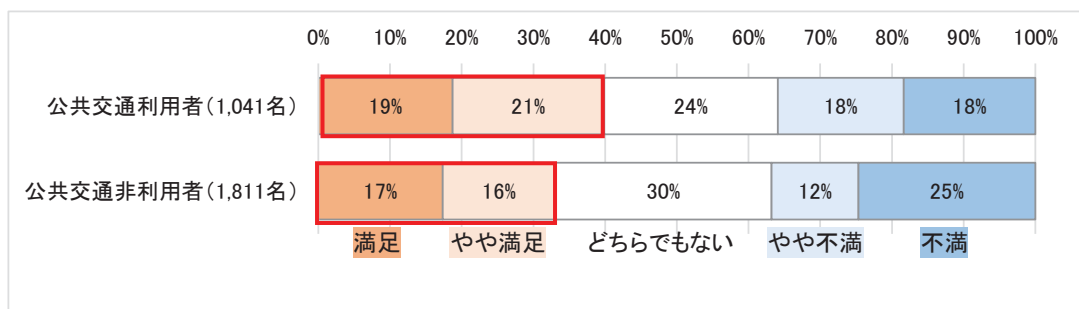
図 35 鉄道、路線バス、タクシーの主な利用目的 出典：地域住民アンケート調査

- ・公共交通利用者は非利用者に比べ、日常生活において、公共交通を使った移動への満足度が高い。公共交通が日常生活の足として機能していると想定される。

<通勤・通学>



<買い物>



<通院>

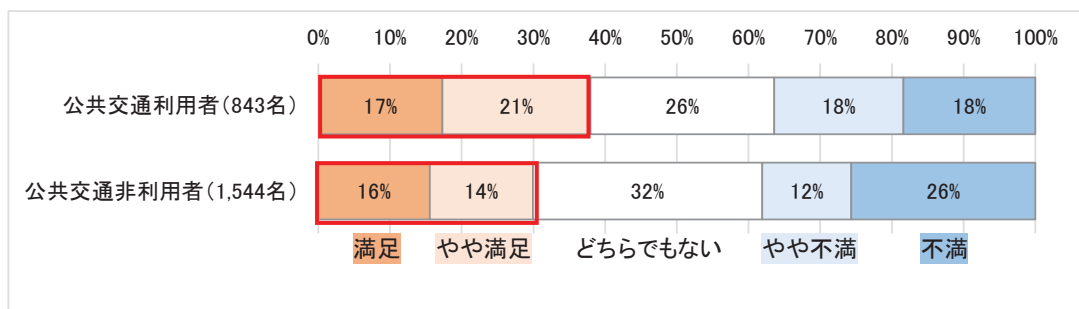


図 36 通勤・通学移動、買い物移動、通院移動の満足度 出典：地域住民アンケート調査

4. 観光移動の実態

- ・観光移動において、自家用車（運転）の移動が多いが、公共交通については鉄道の利用が多い。観光客の移動手段は、公共交通が3割程度を占め、重要な移動手段である。

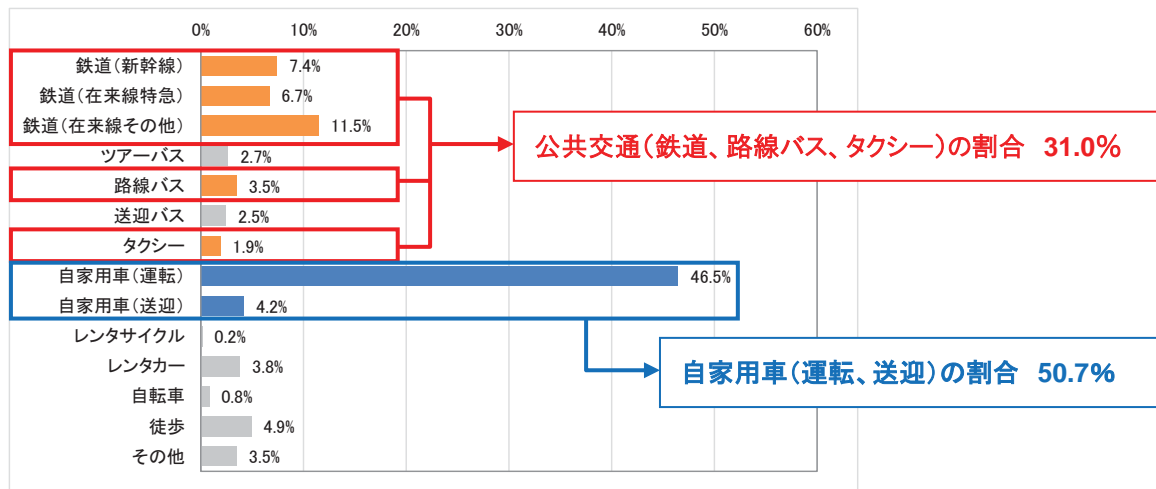


図 37 観光移動で利用する移動手段 出典：観光 Web アンケート調査

- ・観光客の過半数は旅行時に複数箇所を来訪している。

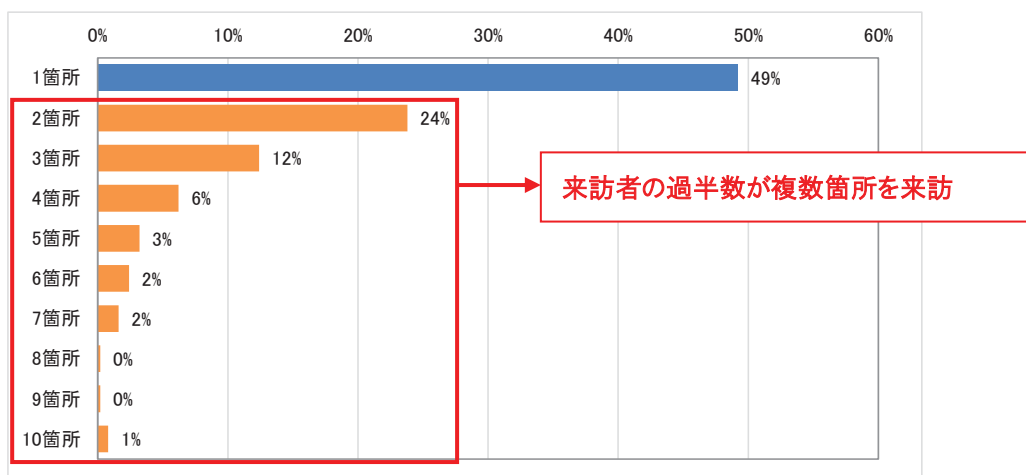


図 38 観光客の来訪箇所数 出典：観光 Web アンケート調査

5. 生活移動における意向

- ・路線バス利用について、運行本数や運行時間帯など運行を重視する意向が多い。

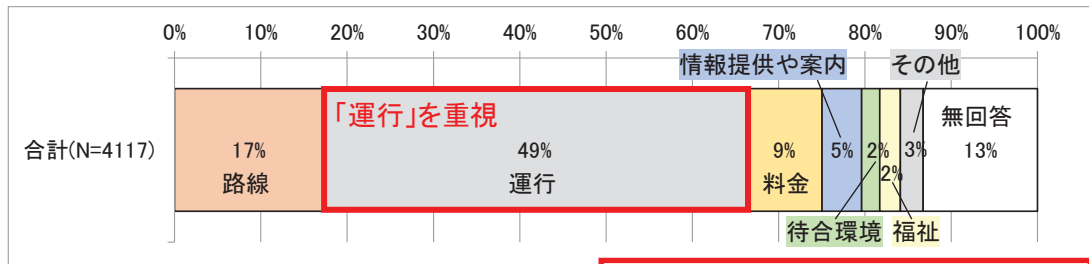


図 39 路線バスを利用する際に重視すること
出典：地域住民アンケート調査

<主な意向>

- ・運行本数が少ない
- ・利用したい時間に運行していない

- ・タクシー利用について料金を重視する意向が多い。

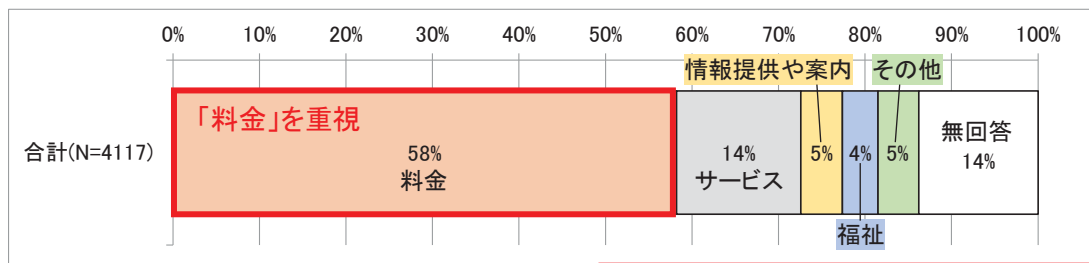


図 40 タクシーを利用する際に重視すること
出典：地域住民アンケート調査

<主な意向>

- ・料金が低い

- ・交通結節点での乗継時間について、15分程度を望む意向が多い。
- ・交通結節点での乗継時間の短縮、乗継に関する情報提供の充実を求める意向がある。

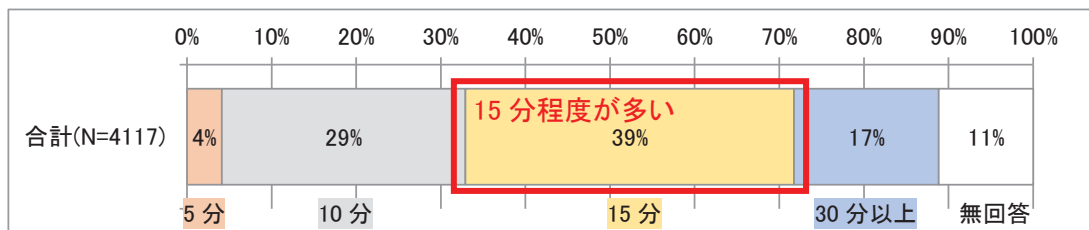


図 41 交通手段間の乗継で待っても良い時間 出典：地域住民アンケート調査

<交通結節点への主な意向>

- ・鉄道と路線バスの乗継時間の短縮
- ・鉄道と路線バスの乗継に関する情報提供の充実
- ・鉄道駅におけるバリアフリー環境の充実

6. 観光移動における意向

- ・ 路線バス利用について、運行本数など運行を重視する意向が多い。

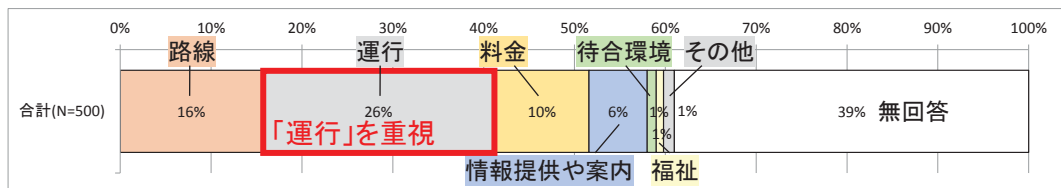


図 42 観光移動で路線バスを利用する際に重視すること
出典：観光 Web アンケート調査

＜主な意向＞
・運行本数が少ない

- ・ タクシー利用について料金を重視する意向が多い。事前に目的地までの料金の明示や支払いのしやすさ等の意向がある。
- ・ 必要時にすぐ乗車したいなど、タクシーならではのサービスを求める意向がある。

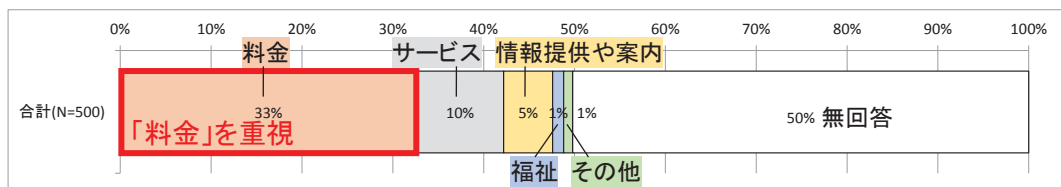


図 43 観光移動でタクシーを利用する際に重視すること
出典：観光 Web アンケート調査

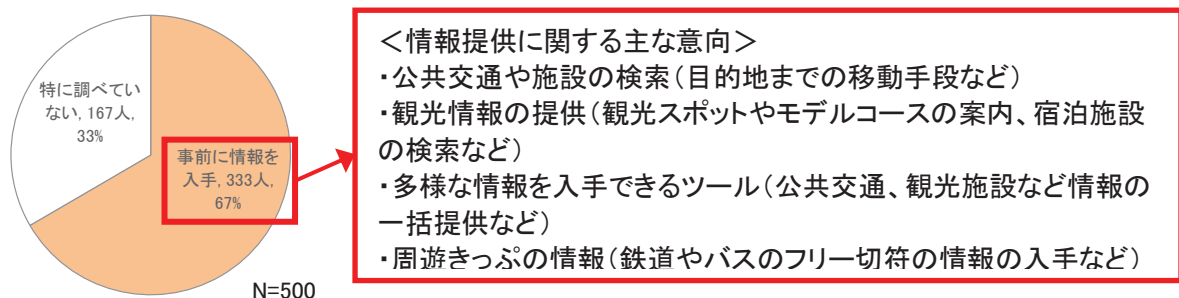
＜主な意向＞
(料金)・料金が低い
・事前に料金を知りたい
・クレジットでの支払い可能
(サービス)・必要時にすぐに乗車
・乗務員からの飲食等の情報

- ・ 交通結節点について、円滑な乗継、乗り場案内の分かりやすさ、路線バスの運行に関する情報提供の充実を求める意向がある。

＜交通結節点への主な意向＞

- ・ 鉄道と路線バスの円滑な乗継
- ・ 鉄道駅のバス停やタクシー乗り場の乗り場案内のわかりやすさ
- ・ 路線バスの運行に関する情報提供

- ・ 観光客の 3分の2は事前に来訪地に関する情報を調べており、目的地までの公共交通の移動手段に関する情報などを求める意向がある。



＜情報提供に関する主な意向＞
・公共交通や施設の検索(目的地までの移動手段など)
・観光情報の提供(観光スポットやモデルコースの案内、宿泊施設の検索など)
・多様な情報を入手できるツール(公共交通、観光施設など情報の一括提供など)
・周遊きっぷの情報(鉄道やバスのフリー切符の情報の入手など)

図 44 事前の情報の入手有無 出典：観光 Web アンケート調査